

平成 25 年度 海外研修事業報告書

第 13 回カナダ・アメリカ派遣



BCIT 航空実習所にて

*WEB 上の報告書においては、生徒が特定できる写真、氏名等については配慮いたしました。

Surrey, British Columbia, Canada

研修期間：平成 2 5 年 7 月 2 3 日～8 月 1 日

協力：Regent Christian Academy International School

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

国際化事業推進委員会

目 次

1. あいさつ	2
2. はじめに	3
3. 第 13 回高校生海外研修実施要項	4
4. 第 13 回海外研修行程表(カナダ・アメリカ)	6
5. 第 13 回高校生海外研修ポスター	7
6. 第 13 回海外研修行程表(カナダ・アメリカ) 結団式	8
7. 海外研修での挨拶	9
8. 研修の概要	11
(1) 7 月 23 日(火) 結団式及び出発、現地到着 ホストファミリーとの対面	
(2) 7 月 24 日(水) 現地高校生徒との交流、一緒に工科大学 (BCIT) 見学	
(3) 7 月 25 日(木) 国境を越えシアトル見学	
(4) 7 月 26 日(金) ボーイング社見学そして再びサレーに	
(5) 7 月 27 日(土)・(6) 7 月 28 日(日) 終日ホストファミリーと休日を過ごす	
(7) 7 月 29 日(月) バンクーバー散策	
(8) 7 月 30 日(火) False Creek Energy Centre 見学、交流会、さよならパーティ	
(9) 7 月 31 日(水) 空港へそして帰国の途に	
(10) 8 月 1 日(木) 無事帰国	
9. 生徒の報告・感想	18
10. 結びに	43
11. 第 13 回高校生海外研修(カナダ・アメリカ) アンケート結果	44

1. あいさつ

国際化事業推進委員会委員長 渡邊裕治
(千葉県立京葉工業高等学校長)

本協会では昭和60年代、産業教育100周年記念事業として、海外研修事業委員会を設立し、国際化推進事業に取り組み始めました。その後海外研修事業委員会を改組し、現在の国際化事業推進委員会となっています。

産業の国際化に対応するため、韓国との工業教育に関わる教職員の交流に始まり、平成8年度より生徒を海外に派遣しています。第1回は教員・生徒をアメリカ合衆国のニューヨーク州に派遣しました。現在のような海外派遣は平成18年度から始まりました。

第1回から10回は語学研修を主な目的としてオーストラリアにて16日間のホームステイ及び現地学校での授業を実施してきました。第11回目から派遣地・期間等を検討し、カナダ・アメリカ合衆国に10日間のホームステイ及び研修としました。今年度は13回目となります。

我が国における近代の国際化は、明治維新から始まりました。明治は長い鎖国時代の後であり、西欧諸国の文化を急速に取り入れた時代です。日本人の勤勉さ・意欲もあり、短期間で先進諸国と肩を並べることが出来ました。残念ながら工業技術は一朝一夕には成らず、「メイドインジャパン」は長い間、粗悪品の代名詞でした。第2次世界大戦後、再び急速な国際化が、主に文化・産業面で起こり「メイドインジャパン」は、今では優れた工業製品の代名詞となりました。これは私達の先駆者の筆舌に尽くし難い努力・苦勞の積み重ねによるものと思います。

そして「ものづくり」により優れた工業技術を確立した我が国が、「ものづくり」を今再び掲げて取り組まなければならない状況に至っています。原因を熟考・分析・猛省すべきと考えられます。

今、「ものづくり」は、国際化を抜きにしては考えられません。今までは市場を国際的に考えてきましたが、今後は製造地も含めて国際的視野に立って考え、新たな形の「メイドインジャパン」としなければ、我が国の工業は国際競争力に太刀打ちできません。

製造に携わる人材の育成を目指している工業高等学校の急務は、教員・生徒の国際感覚の育成であり、このことは資源の乏しい我が国に於いて、その将来に大きく影響する極めて重要な事です。

先人の考え・行動を今こそ熟考・分析・猛省し実行すべきです。文化交流はどうであったか。産業界におけるエンジニアは、商社マンは等々。現在は交通手段・情報化が目まぐるしく発展してきました。環境は十分に整っています。

工業高等学校を卒業後、特に製造業に携わる場合はもちろん、他の業種においても、この国で生活する全ての人にとって、国際化社会に身を投じることは避けられません。

今回の海外研修に参加して生徒諸君は「国際」とは如何なものかを、おぼろげながら感じたことと思います。一人ひとりが周囲の友人と将来の生活について真剣に議論し、相互に影響を及ぼしあいながら具体的に行動する。そして、豊かな未来を実現することこそが、この取り組みの目指すところです。

全工協ではこれからも国際化事業の推進に努め、充実・発展させていきたいと考えています。今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

2. はじめに

国際化事業推進委員会委員 木南郁男
(神奈川県立藤沢工科高等学校長)

国際化事業の推進は、昭和 60 年代に産業教育 100 周年事業として設立された海外研修事業委員会に端を発し、今日では、急速に進展する国際化に対応するために、工業高校においても必然の取り組みとして検討されています。

生徒を海外に派遣する具体的な取り組みは、異国の文化や習慣を幅広く体験させ、相互理解と友好親善に努める豊かな国際感覚を育成するとして文部省の支援をえて、平成 8 年に実施した第 1 回の生徒・教員によるニューヨーク州への海外派遣から始まりました。

その後、韓国との工業教育に関わる教職員の交流、国際協力機構(JICA)への協力、国際会議の共催や参加等の国際交流事業を推進する取り組みからスタートに発展しました。

今回のような高校生海外研修は、平成 13 年度から始まり今回で 13 回を数えます。第 1 回～第 10 回は語学研修を主目的としてオーストラリアで 16 日間のホームステイ及び現地校での授業を軸に成果を上げてきました。そこで第 10 回の実施を区切りとして、それまでの実施内容や参加者のアンケート結果、今後の国際化の変化に対して工業高校生に求められるものは何か?等の観点から、今後の海外研修内容が検討され、工業高校の海外研修としての特色ある内容の充実が図られることになりました。

工業高校ならではの海外研修という狙いから海外の工業との接点を採り込むため、実施場所を北米エリアに変更し、工業に関係する海外の企業・施設や教育機関・学校の視察や訪問の機会も組み込むこととなりました。具体的には、従来の異文化や多様な価値観・行動様式の理解の場としてのホームステイ、現地校での授業や現地生徒との市街地生活体験に加え、工業系博物館、工業系技術学校の視察訪問、工業関連企業の視察訪問、公共的環境対応技術施設の視察訪問が組み込まれました。

また、昨年までのアンケート結果や同行者の意見を取り入れ、参加生徒の諸君に工業関連英語にも果敢に親しんでもらう狙いから、いろいろな視察訪問の場では、現地人の英語での説明の際に、同時通訳するのではなく、生徒に生の英語を聞いてもらい、英語で質問をしてもらう。理解不足の内容については、その後同行者に日本語で確認するといった取り組みも開始しました。更に、参加生徒の研修効果を維持する狙いで、毎日の出来事や感想、気づいた事や考えた事等を記載してもらうノートを各 1 冊、配布しました。毎日の出来事を通して、英会話の変化や価値観や行動様式の変化等、自分の変化・変容(例えば寝言が英語に変わった!)等に、気づいてもらえる様、配慮しました。

一方で、昨年は、応募者・参加者の定員割れが見られたので、今回は、年度当初に、全ての工業高校に海外研修のポスターを作成・配布したところ、参加定員の 1.5 倍の応募者があり、公正・公平に参加者を決定しました。これは、全国の工業高校の生徒の国際化に対する関心の高さを示していると思われます。

本報告書では、研修概要の後に、参加者全員の報告が続きますので、事象の差異を知る→何故?→背景を知る→事象を理解する→多様性を受容する→自分の行動様式の選択肢が増える等の研修を通じた生徒の変容の一端を読み取っていただければと考えています。

引き続き一人でも多くの工業高校生が、近い将来に国際社会で自分の存在感を示し、活躍してくれるきっかけとなるよう、海外研修事業を充実・発展させていければと考えています。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

3 第13回高校生海外研修実施要項

① 第13回高校生海外研修実施要項

- 1 目的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚や英会話能力を身に付ける教育が求められています。このような社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として本研修を実施します。
- 2 期 日 平成25年7月23日（火）～8月1日（木）の10日間
- 3 研修地 カナダ（バンクーバー・サリー地区）、アメリカ合衆国（シアトル）
- 4 研修内容 英会話授業、学校内見学、企業視察、等
- 5 宿泊先 現地家庭（ホームステイ）、ホテル
- 6 経 費 350,000円（旅行費用、参加生徒20名で算出、諸経費7,000円含）
なお、空港施設使用税・保安サービス料等（11,000円）、燃料特別付加運賃（平成24年11月現在52,000円）/航空保険料の経費は参加生徒負担7,000円を除いた額を全工協会が負担する。
- 7 補助金 1) 一律補助 選考された参加者に旅行費用として100,000円を補助する。
2) その他上記補助に加えて50,000円をジュニアマイスターゴールド顕彰者、リスニング英語検定1級合格者、高校生ものづくりコンテスト全国大会出場者、技術・アイデアコンテスト入賞者（最優秀賞・優秀賞）、製図コンクール最優秀特別賞、高校生ロボット相撲全国大会入賞者（優賞～3位）、ジャパンマイコンカーラリー入賞者（優賞～3位）に奨学金として補助する。
- 8 応募条件 会員校の生徒（学校長推薦者とし、複数推薦の場合は推薦順位を記して下さい）
- 9 募集人員 20名
- 10 その他 1) 希望者は「海外研修参加申込書」並びに「応募理由」（A4用紙800字程度）を本協会HPよりダウンロードした用紙に記入し提出すること。
2) 応募者多数の場合は委員会にて応募校原則1名として、書類選考する。
3) 研修中の公式行事・通学時は制服を着用すること。
4) 参加者は帰国後、各自報告書（協会指定の形式）を提出すること。
- 11 応募締切 平成25年5月17日（金）
- 12 応募書類提出先・問い合わせ先
公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局長 木暮 守雄
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 mem01@zenkoukyo.or.jp

② 第13回高校生海外研修における教員参加実施要項

- 1 目 的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚や英会話能力を身に付ける教育が求められています。この様な社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として本研修を実施します。
- 2 期 日 平成25年7月23日（火）～8月1日（木）の10日間
- 3 研 修 地 カナダ（バンクーバー・サリー地区）、アメリカ合衆国（シアトル）
- 4 研修内容 英会話授業、学校内見学、企業視察、等
- 5 宿 泊 先 指定のホテル（朝食付）
- 6 経 費 350,000円（旅行費用、諸経費7000円含）
- 7 補 助 金 一律補助 選考された参加者に旅行費用として35万円の内130,000円を補助する。なお、空港施設使用税・保安サービス料等(11,000円)、燃料特別付加運賃(平成24年11月現在52,000円)/航空保険料等の経費は、参加者負担分を超えた分は協会が負担する。
- 8 応募条件 会員校の教員（学校長及び学校長推薦者）
- 9 募集人員 若干名（応募生徒数が20名に満たない場合に、20名から生徒数を引いた人数を教員枠として募集する。生徒で予定数が満たされた場合は教員枠無しとなる。）
- 10 そ の 他
 - 1) 希望者は生徒用の「海外研修参加申込書」並びに「応募理由」（A4用紙800字程度）を本協会HPよりダウンロードした用紙に記入し校長を通して提出する。
（保護者氏名、学年等について不必要な箇所は削除し、生徒氏名は応募者氏名とする。）
 - 2) 校長から推薦された希望者を委員会で書類選考して、校長を通して連絡する。
 - 3) 現地では引率者の指示に従い、原則として、生徒の日程に沿って行動するが、宿泊は指定のホテルとする。
現地でのタクシー・路線バス・鉄道及び食事代等の雑費は各自負担とする。
休日及び生徒がホームステイ先に帰った後は各自のテーマに応じた行動とする。
 - 4) 参加者は帰国後、各自報告書（協会指定の形式）を提出する。
- 11 応募締切 平成25年5月17日（金）
- 12 応募書類提出先・問い合わせ先
公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局長 木暮 守雄
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 mem01@zenkoukyo.or.jp

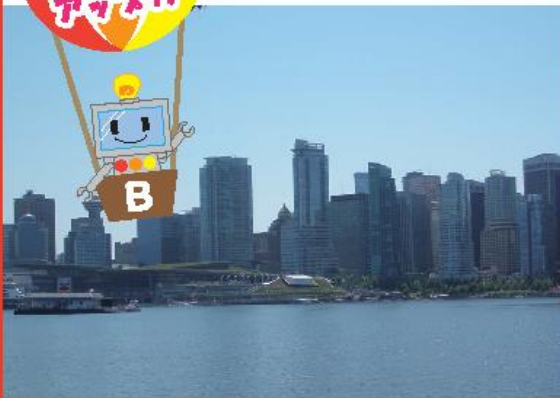
4 海外研修日程表

	月日	曜日	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	行動予定・宿泊	食事
1	7/23	火	成田空港集合 結団式 成田空港発 バンクーバー着 バンクーバー郊外	午後 夕刻 午前	航空機 専用車	成田空港指定場所に集合 特別会議室にて諸注意・結団式 〈日付変更線〉 入国審査・手荷物受け取り 研修地へ(途中ランチをとる) リエンション・ホストファミリーと対面、 各家庭へ分かれる 〈ホームステイ泊〉	機内 2回 昼 夕
2	7/24	水	バンクーバー郊外	終日	専用車	カナダ人学生とトピックを決めて英会話、BCIT キャンパス見学(リッチモンド)、ブリティッシュコロンビア大学見学・人類博物館 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
3	7/25	木	バンクーバー郊外	終日	専用車	バンクーバーよりシアトルに向かう ダウンタウン、セーフ・フィールド(マリナズ)見学 〈ホテル泊〉	朝 昼 夕
4	7/26	金	バンクーバー郊外 シアトル	終日	専用車	ボーイング社、航空博物館等見学後バンクーバーに戻る 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
5	7/27	土	シアトル バンクーバー郊外	終日		ホストファミリーと一緒に過ごす 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
6	7/28	日	バンクーバー郊外	終日		ホストファミリーと一緒に過ごす 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
7	7/29	月	バンクーバー郊外	終日	専用車	カナダ人学生と一緒にバンクーバー市内、スタンレーパーク、キャピラノ吊橋などを散策 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
8	7/30	火	バンクーバー郊外	午前 午後 夕刻		現地企業見学 現地学生と交流会 さよならパーティ 〈ホームステイ泊〉	朝 昼 夕
9	7/31	水	バンクーバー郊外 バンクーバー発	午前 午後	専用車 航空機	出発まで自由行動 待ち合わせ場所に集合、空港へ移動帰国の途に 〈機中泊〉	朝 昼 機内
10	8/1	木	成田空港着 解散	夕刻		入国手続き後解散	機内

5 平成 25 年度海外研修ポスター

平成25年 第13回 高校生海外研修生募集








**現地
英会話
アツス!!**

良き学びを!!

A

高校生海外研修は全国の工業高校生と一緒に、海外でホームステイをしながら工業について学ぶ研修です。

B

男女ともに大募集!!

C

期日	平成25年7月23日[火]~8月1日[木]の10日間
研修地	カナダ[バンクーバー]、アメリカ合衆国[シアトル]
研修内容	英会話授業、学校内見学、企業視察等
宿泊先	現地家族[ホームステイ]、ホテル
募集人員	20名
応募締切	平成25年5月17日[金]
主催	公益社団法人全国工業高等学校長協会

校内の問い合わせは

先生まで

制作/神奈川県立藤沢工科高等学校 総務部

6 第13回海外研修（カナダ・アメリカ合衆国）・結団式

- 1 日 時 平成25年7月23日（火） 13:30～14:30
- 2 会 場 成田空港 成田空港第1ターミナル 4階有料待合室
- 3 結団式次第 司会（事務局長） 木暮 守雄
- (1)開式の言葉 国際化推進委員(埼玉県立狭山工業高等学校) 市川 孝
- (2)挨拶 ①全国工業高等学校長協会・理事長(東京都立蔵前工業高等学校長) 豊田 善敬
②国際化推進委員会・委員長(千葉県立京葉工業高等学校長) 渡邊 裕治
- 4 引率者紹介 ①国際化推進委員(東京都立墨田工業高等学校長) 加藤 秀次
②国際化推進委員(神奈川県立藤沢工科高等学校長) 木南 郁男
③ツアー添乗員(I S S (株)国際交流センターツアーリーダー) 鈴木 沙織
- 5 参加生徒自己紹介 生徒19名
- 6 生徒宣誓 千葉県立東総工業高等学校 情報技術科 3年 小川 太一
- 7 第13回海外研修(カナダ・アメリカ合衆国)の全般的な諸注意
I S S (株) 国際交流センター 中山 力洋
- 7 閉会の言葉 国際化推進委員
- 8 出席者 理事長：豊田善敬 国際化推進委員：渡邊裕治・加藤秀次・木南郁男・市川 孝
事務局：木暮守雄・長田匡央 I S S (株)：中山力洋・鈴木沙織
研修参加生徒：19名

	都道府県	学校	科	学年
1	北海道	函館工業	建築	3
2	宮城	気仙沼向洋	機械技術	3
3	茨城	総和工	機械	2
4	埼玉	熊谷工業	機械	3
5	埼玉	熊谷工業	建築	3
6	千葉	東総工	情報技術	3
7	東京	工芸	デザイン	2
8	東京	中野工業	総合技術	2
9	福井	春江工業	機械	2
10	福井	科学技術	テキスタイルデザイン	2
11	静岡	浜松工業	デザイン	3
12	静岡	浜松工業	デザイン	3
13	愛知	岡崎工	土木	1
14	愛知	刈谷工	機械	2
15	大阪	市立都島工	都市工学	3
16	徳島	徳島科学技術	環境科学コース	3
17	福岡	福岡工業	電子工学	2
18	福岡	小倉工業	電子機械	2
19	熊本	鹿本商工	電子機械	2

7 海外研修での挨拶

(1) 結団式での生徒宣誓（千葉県立東総工業高等学校 情報技術科 3 年 生徒）

全国工業高等学校長教会主催第 13 回高校生海外研修にあたり、カナダ・バンクーバー郊外でホームステイを体験し、ホストファミリーや現地の方々との人間関係や生活様式の違いを体験してきました。また、現地の工場や博物館の見学を通して、技術や異文化を体験してきました。

私たち 19 名は、この研修を通して海外を知るとともに、自分を磨き、経験と実力をつけたいと思います。不安もありますが、これからの 10 日間の研修に一生懸命取り組んでいきます。そして、今まで以上に大きくなって日本に帰ってきたいと思います。

We will do our best to everything!

(2) カナダ人の学生との交流会・さよならパーティ挨拶

① 福岡県立福岡工業高等学校 電子工学科 2 年 生徒

Hello everyone!

It's time to say good bye and we feel so sad. Because we had a good time with you.

At first, we were thinking if we could get along with Canadian students. Before we came to Canada.

On the first day, we met Mr.Allan and then we had a class with Canadian students.

At that time, they were very friendly, we were very happy.

Thanks to this, anxiety is no longer, we were able to open our heart to them.

From that time, we went BCIT, UBC, Gastown, Stanley Park, Capilano Suspension Bridge, and souvenir shop, further to become friends with you guys, we can now speak English, we felt happy whenever we met you guys.

Mrs.Field, Mr.Field, Mr.Allan, Mark, Nathen, Alexandra, Josh, Angela and Luke, thank you so much! It was very very fun!! We also would like to meet you someday! We never forget things you guys.

ありがとうございました。Thank you very much!

② 東京都立工芸高等学校 デザイン科 2 年 生徒

Dear my host family.

Thank you for 8days. Sometimes, we could not communicate well in English, but you tried to understand, and help us every time.

And then, delicious meals, nice room, we thank you with respect to all of that.

In Canada, there was a lot of fresh things for us. So, we will tell to our family and friends these things when we get back to Japan.

We'll miss you very much. I am most grateful for your warm hospitality.

Thank you.

③ 神奈川県立藤沢工科高等学校 木南郁男 校長（The comment of gratitude at a farewell party）

Hello, everyone ! I'm Kiminami as a principal of technical high school in Japan. I would like to

express to all of you my deepest gratitude for this program. For our 19 students, it might be only a week, it will be the big "one week & precious memories" in their future. I think they have found and learned a lot of things through these experiences with host family and students here. They might have learned culture, the way of thinking and doing in Canada and so on. Changing myself is not easy for anyone, but environment or this kind of circumstance can make it easy.

Generally speaking, learning steps are knowing difference, understanding the meaning, memorizing, trying to do, encountering the difficulty to complete, considering the reason to improve the condition by oneself, after that, re-trying and getting small success and confidence. I call a series of these activities "Growth Engine". RCA(Regent Christian Academy) and host family have brought well-considered opportunities to 19 students. Again, I really appreciate your hospitality and co-operation.

Thank you so much!

8 研修の概要

第13回海外研修は、平成25年7月23日(火)から8月1日(木)の10日間で実施し、全国の工業高校生が19名参加した。以下に研修の概要を報告する。

(1) 7月23日(火)

成田空港で結団式後出発、現地到着、ホストファミリーと対面

成田空港第一ターミナル4階待合室で、13時30分から研修生及び見送りに来た保護者を交えて結団式を行った。研修生の自己紹介では、一人ひとり不安を隠せない表情が印象に残った。しかし、生徒宣誓では、「強い意気込みと決意を感じる」宣誓をしてくれた。



成田空港内待合室での結団式

成田空港からエアーカナダ004便で午後5時40分定刻どおり出発し、バンクーバー空港に定刻どおり到着した。現地時間で23日(火)午前10時30分日本と16時間の時差の関係で23日を約2日分過ごすことになる。

バンクーバー空港で現地ツアーコーディネータ自称「アキコ」と合流した。最終日までアキコさんにお世話になることになる。

貸し切りバスでバンクーバー市内のグランビルアイランドに移動し、公営市場内にあるフードコートで各自昼食をとった。このとき初めて班行動で、英語を話してカナダドルを使用した。生徒は皆ドキドキで昼食を取った。昼食後、バンクーバー郊外にある研修の拠点校である

Regent Christian Academy International School (以下：RCA校) に移動した。



グランビルアイランド公営マーケット前

RCA校では、当該校の担当者である A. Allan Visser 氏 (以下：アラン) から出迎えの挨拶をいただいた後に、アキコさんから今後のプログラムやホームステイでの諸注意等についてオリエンテーションを受けた。16時ホームステイ先のホストファミリーに学校まで迎えに来ていただき、アキコさんを通して一組ずつ対面し、挨拶と簡単な自己紹介を終えた組からホストファミリー宅へと移動した。ホストファミリー宅で夕食・シャワーを頂いて、長い1日がやっと終わりになった。



RCA校に到着

(2) 7月24日(水)

RCA校教員による授業、同校生徒6名との触れ合いタイム、BCITキャンパス見学、UBCキャンパス見学、RCA校でホストによる送迎

朝8時50分までに研修生はホストファミリーにRCA校まで送ってもらい、9時から午前中2

グループに分かれてRCA校教師二人（フィールド夫婦）からコミュニケーション授業等を受けた。男性教師の授業：3、4名のグループに分かれ、RCA校生徒が加わってテキストに従いながら自己紹介やコミュニケーション会話をする。

女性教師の授業：教師が用意した質問に対して、一人ひとり指にテープを巻き取りながら回答し、テープを巻き終えたところで終了。カナダの伝統的な歌を教わりながら、皆で合唱した。



RCA 校での授業風景

両教師とも留学生相手の授業が慣れているようで、ゆっくりとした話し方で分かりやすいので生徒は楽しく授業を受けていた。途中で班のローテーションを行った。

ランチは、RCA校の食堂で各ファミリーが作ってくれたものを見せ合いながら楽しく食べていた。

午後からBCIT校の見学、RCA校の生徒6名も同行。バスで移動するのだが、移動手段がRCA校の「黄色いスクールバス」しかも、運転者は、RCA校担当者アラン自らドライバーとなり運転した。研修生は、映画やドラマで見るスクールバスに実際に乗れて感動していた。



お世話になったスクールバス

British Columbia Institute of Technology ブリティッシュコロンビア工科大学(以下:BCIT)のリッチモンド校に到着。ここは、航空機に関する多様な学科があり、管制官業務や機体整備、製作、航空機エンジン、電装、制御等、ヘリコプターから小型飛行機、大型ジェット機など様々な機種を扱っており、生徒は説明場所ごとに驚きの歓声をあげていた。



BCITエンジン分解実習室

その後、UBCへスクールバスで移動。

UBCはThe University of British Columbia
ブリティッシュ コロンビア大学の略称で、カナダ
で三本指に入る大学である。

この大学の広さは、地図で見ると1辺の長さが
2kmぐらいある広大な敷地を有している。その
敷地のほんの一部を散策しただけだが、研修生全
員が広さを実感できた。



UBC中央通り(校舎が見えない)

(3) 7月25日(木)

**アメリカ：シアトル市、マリナーズ球場見学、
航空博物館見学、シアトル郊外のホテルで1泊**

7時45分RCA校集合後、アメリカ・シアトル
に向けて観光バスで出発。9時アメリカ国境到着。
入国審査が厳しいと事前説明があったのでバスの中
から全員緊張状態であったが、特に問題なく全
員通過した。11時45分シアトル市内の宇和島屋
で昼食後、セーフコ・フィールド（シアトルマリ
ナーズホーム球場）球場見学ツアーに参加。イチ



ローが昨年まで座っていたベンチを教えてもらい、
皆で記念写真を取った。インタビュールームや記
イチローの座っていたベンチでポーズ

者席、特別室など普段入れないところを見学でき
て研修生は大喜びしていた。

16時から航空博物館を見学した。ライト兄弟が
製作した飛行機から戦前の飛行機、ジェット機、
スペースシャトルなどの実物や実物大のモデルが
展示されていた。研修生は、このころには英語の
ヒアリング力が向上してきており、ガイドの説明
にうなずく姿を目にするようになった。とにかく
広い博物館なので、短い時間で全部見ることが
できなかったのが残念だった。

18時過ぎに Holiday Inn Seattle-Renton ホテ
ルに到着。



航空博物館

夕食は指定のメニューから好きなものを注文して
よいといわれ、ステーキやスイーツを堪能しなが
ら楽しいひと時を過ごすことができた。夕食後は、
班単位で最終日に行う交流会とホストファミリー
とのお別れ会で行う出し物等の企画を考えさせた。

(4) 7月26日(金)

**シアトルダウンタウン見学、ボーイング工場見
学、カナダ税関、RCA校到着**



スターバックス第1号店で買い物

9時ホテルを出発し、シアトルダウンタウン見

学の予定が、スターバックス1号店を紹介されて、混んでいたところを皆が並んで買い物をしたので、市内見学は時間切れとなりボーイング社に向かった。途中ショッピングモールのフードコートで自由に昼食を取ったが、初日のフードコートの昼食と違い、好きなものを店員さんに余裕で注文して食べていた。

ボーイング社エベレット工場のツアーは、アメリカでも人気なので、指定された時間に待機していないとキャンセルされてしまうので、12時ころにはボーイング社に到着した。13時からボーイング社見学。

工場敷地内を専用バスで移動し、ボーイング「747」「777」「787」機の生産ラインを見学した。ガイドの説明が早口で、詳しい内容はほとんど分からなかったようだが、工場の大きさやそこで働く人たちの「自信や誇り」を感じたようで、とても満足した見学であった。ボーイング・エベレット工場内での撮影は一切禁止であったのが残念であった。

16時40分カナダ税関に到着。入国審査待ちのバスが渋滞しており、1時間以上待たされたが、日本の学生と知り、書類審査のみで税関を通過できた。アメリカとカナダの入国審査の違いを思い知らされた。

19時過ぎ、予定より約1時間遅れてRCA校に到着し、ホストファミリー宅へ。



ボーイング社見学先資料映像

(5) 7月27日(土)

ホストファミリーと1日過ごす。

(6) 7月28日(日)

ホストファミリーと1日過ごす。

休日はホストファミリーと同じように過ごしてもらっていることになっているので、研修生によって過ごし方が違う。ショッピングに3時間以上かけたり、海に連れて行ってもらったり、町会のスポーツ大会に参加したり、教会に連れて行ってもらったりと多様であった。詳細は、研修生の報告書欄をご覧ください。

(7) 7月29日(月)

キャピラノの吊橋見学、スタンレーパークで昼食、ギャズタウン見学、バンクーバー市内でお土産タイム。

キャピラノのつり橋は、バンクーバー市内からスクールバスで短時間で到着した。研修生たちは、カナダの大自然の一部に触れ、日本の自然環境保護の大切さを実感していた。



キャピラノのつり橋を渡る研修生

スタンレーパークに移動し、公園の広大な敷地の芝生の上で、RCA校生徒とグループに分かれて昼食をとりながら英会話を楽しんだ。生徒の感想の中に、「このときには、カナダ人学生の話す冗談が理解できたので嬉しくなった。」と記載している研修生がいた。

その後、バンクーバー発祥の地といわれる「ギャズタウン」を見学し歴史ある町並みに昔の開拓精神の思いに触れられた。

その日の最後は、研修生皆が待ち望んでいたお土産屋さんでの買い物タイムである。日本人が経営するOK Gift Shopで買い物を楽しんだ。ここでは、カナダドル、アメリカドル、日本円どれでもOKであったので、研修生のお財布残高の調整に助かったようである。16時30分ころRCA校に到着し、お土産をいっぱい抱えてホストファミ

リー宅へ。

(8) 7月30日(火)

False Creek Energy Centre 見学、RCA校で昼食後、交流会、お別れ会の準備・練習、RCA校生徒との交流会、ホストファミリーとの送別会

午前中は、お世話になったスクールバスで移動し、最後の施設である False Creek Energy Centre を見学した。この施設は、北米初の施設で、下水熱を利用した再生可能エネルギー施設である。下水熱再生システムで建物に使われる温水や暖房の熱エネルギーを供給している。従来の建物から排出される温室効果ガス排出量全体の約 70%を減少させることに成功している。



下水熱再生システムプラントの見学

午後は、RCA 校に戻り、カナダ人学生やホストファミリーとのお別れ会の準備・打ち合わせ、お礼の手紙作成等を各班に分かれて行った。また、RCA 校の教師がお別れ会に行う英語での寸劇を指導してくれた。

14 時から研修最後の行事としてカナダ人学生との交流会を行った。研修生代表による RCA 校生徒へのお礼のスピーチからはじまり、研修生が各班でブースを作り、折り紙やこま回し、剣玉、綾取りなどを RCA 校生徒に英語で説明しながら、やり方を教えて一緒に楽しんだ。

15 時からホストファミリーが加わりお別れ会を行った。お別れ会の主な流れは、

- ①RCA 校担当者アランのスピーチ
- ②RCA 校生徒からのスピーチ
- ③研修生と RCA 校合同の寸劇披露

④研修生代表からホストファミリーへのお礼のスピーチ

⑤海外研修引率代表校長がスピーチ、プレゼント贈呈

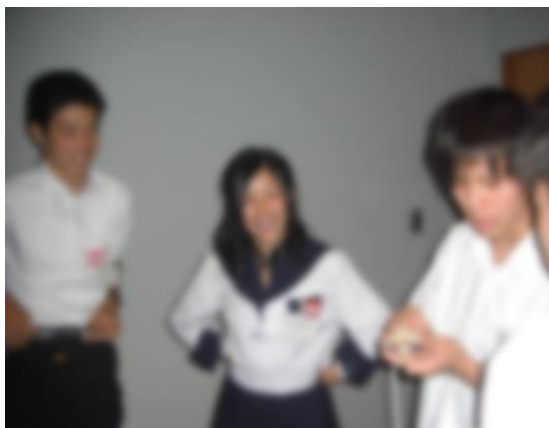
⑥研修生によるお礼の合唱

⑦RCA 校より「研修修了証書」を一人ひとりに授与していただいた。

⑧軽食・ドリンクで簡単にパーティー

⑨ホストファミリー毎に解散



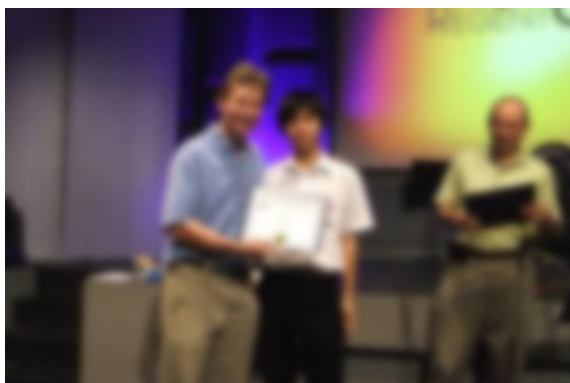


交流会の風景

ホストファミリー宅では、ホストファミリーが心をこめたご馳走で最後の夜を過ごし、お互いなごりを惜しんでいたようである。



ホストファミリーへの感謝のスピーチ



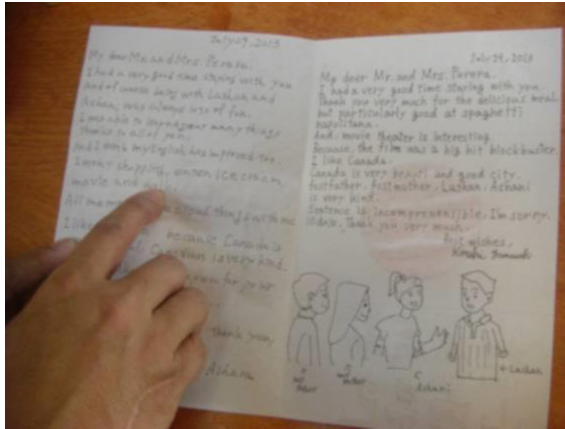
修了証書の授与

(9) 7月31日(水)

8時30分RCA校出発、バンクーバー国際空港
到着後チェックイン、12時40分定刻どおり出発

この日は、カナダでの思いを胸に留め、全員無事日本に帰るために行動した。チェックイン後、しばらく時間ができたので、最後のお土産タイムを設定した。研修生は各自日本にいるような感覚で英語で話しながら楽しそうにお土産や食べ物を買っていた。研修の成果が現れていると実感させられた。飛行機に乗り込んだ後は、仲良くなった研修生同士でホームステイのエピソードなど楽しそうに話していたが、いつしか深い眠りに入っていた。





ホストファミリーへの手紙(一例)



バンクーバー空港内のモニュメントにて

(10) 8月1日(木)

14 時過ぎ成田空港に予定よりやや早めに到着、入国審査、その後、到着ロビーで諸注意・連絡等を行って3時過ぎに解散。各自、家路に向かった。

(11) 研修生の感想抜粋

今年の研修では、研修生一人ひとりにノートを手渡し、就寝前にその日の出来事や感じたこと、思ったことなどまとめて記入させ、翌日引率校長が確認するといった日誌形式で生徒の活動を把握することにした。

ここでは、その一部を抜粋して紹介し、研修の成果を感じていただければ幸である。

＜生徒の日誌：後半の日程より＞

- ・ ボーイング社の説明をする人の意味はほとんど分からなかったけど、工場の中を見ればそこで働く人たちの思いは伝わってくるものだと思う。

- ・ 日本の自動車工場に見学に行ったことがあるけど、その何倍も大きく働いている人がとても楽しそうに作業をしていた。
- ・ 海外研修もだいが慣れてきた。英語も結構訳せるようになったと思う。
- ・ つり橋の構造をめちゃくちゃ知りたかったです。
- ・ つり橋は高さ 70 メートルなので腰が引けて足も精神的にも疲れしました。怖かったけどカナダの自然を体感できた。
- ・ 僕は橋の勉強をしているので、つり橋の構造など一般の人の知らないところも見られたので良かったです。
- ・ スタンレーパークでカナダ人学生と一緒にランチ。英語にも慣れ、カナダ人学生の言っている冗談も分かってきたので楽しかった。
- ・ 時々伝えられないときがあるけど、話せるようになってきた。
- ・ バスの中でカナダ人学生と少し話せるようになったのが良かった。もっと話したかったが英語が話せなくてとても悔しい。
- ・ お土産屋で日本人店員さんと日本語で話したら変な感じだった。
- ・ ボーイングで働くにはどうしたらいいのだろうと考えた。まず日本で勉強して、BCITに入学してボーイング社に入社・・・どのくらい難しいことなんだろう。
- ・ ヒートポンプシステムを見学。2013年にできた施設と聞いてびっくり。最先端技術を目の前で見られて良い経験になった。
- ・ 北米で唯一CO2を70%削減に成功した施設。下水熱で省エネでき環境にも良いとは知らなかった。
- ・ もうお別れだと思うと悲しくなって涙が出てきちゃった。感謝！
- ・ ファミリーから「大人になったらカナダに帰ってきてね。私たち家族だから。」
- ・ 手作りのサンキューカードをファミリーに渡したら、すごく喜んでくれたので嬉しかった。
- ・ 多くの人と出会い、同じホームステイの仲間ができて本当に嬉しかった。
- ・ この経験を生かして学校生活を頑張っていきたいです。

- 10日間とても短く感じました。
- 最初は英語に全然慣れなくて、あまり話しかけてほしくなかったし、すごく日本に帰りたかった。だんだん打ち解けて仲良くなることができた。本当に嬉しかった。10日間でこんなに馴染めるとは思っていなかった。本当にたくさんの思い出ができた海外研修だった。
- すべて初めての経験で、見るものすべて感銘を受けました。一番何が楽しかったかと聞かれたら、全てが一番！！これまで日本で経験したことより何十倍も何百倍もいい経験となりました。このプログラムに参加できたことにとても感謝しています。
- 日本以外の国で生活体験を重ね、視野を広げてより豊かな人生にしたいです。

9 生徒報告と感想

The best memory

北海道立函館工業高等学校

建築科3年 生徒

1. Home stay

初めはどんな人が私の Family になってくれるのかとても不安でした。しかし会った瞬間に笑顔で迎えてくれたのでとても緊張がほぐれました。10歳の女の子と6歳の男の子の4人家族で男の子に会ってすぐハグされました。とても笑顔の絶えない家族でいつも笑ってばかりの10日間でした。カナダは夜の10時くらいまで外が明るいので夜ご飯はガーデンで食べ、朝は時間のあるときに食べました。ショッピングや飛行機ショー・ガーデンでキャンプファイヤー・Beachでバーベキューもしてお家の中に movie シアターもあり、たくさんの思い出を作れました。また会話で家族みんなで大笑いしたことも忘れません。とても楽しくて帰ってきたくありませんでした。



Family の子供と grand mother と…

2. バンクーバー散策

グランビルアイランドでの昼食はジュースを飲み、たくさんの船と高層な建物を見ながら友達と食べました。よくテレビで見る風景を自分の目で見ていると思うと変な感じでした。

キャピラノ吊橋は70mの高さがあり、とても高く揺らさなくても人が渡っているだけで結構揺れるのでスリル満点でとても楽しかったです。この吊橋は100キロの人がたくさん乗っても大丈夫なように設計されていると聞き、安心して渡ることができました。

スタンレーパークではたくさんの自然やバンクーバー市内を一望できる場所があり、ダウンタウンでは普段、日本では見ることのできないオシャレな街並みをたくさん見ることができました。



スタンレーパークにて

3. 会社見学

ボーイング社では飛行機の組み立てが1から順に流れ作業で行われていて、飛行機を作っているところを初めて見て感動しました。マイクロソフト社はとても綺麗でいろんな国からの学生さんたちが多く、たくさんの設備が整っていました。航空博物館では実際にヘリコプターに乗れたり、昔から最新のヘリコプターの歴史などを学びました。

4. 市内観光

シアトルではセーフコ・フィールドという野球場を見学しました。運よく面白い日本人のスタッフさんがいて日本語で案内してくれました。普段見ることのできないところも見られ、グラウンドの芝の緑と茶色、空の青色がマッチしていてとても綺麗でした。

スターバックスの第一号店にも行き、そこでしか買えないものがたくさんあり迷いに迷った結果、Tシャ

ツとタンブラーを買ってきました。飲み物のカップには自分の名前も入れてくれすごく嬉しかったです。

5. 感想

今回初めての海外で不安より楽しみしかありませんでした。英語が話せるかだけが不安でした。だけど話してみると単語でも理解してくれ、英語を話すのが凄く楽しくなって学んだことの多い10日間でした。すべてが初めてだったので感動も喜びもあり、最後には涙もありましたが、今回学んだことを今後の人生に大きく生かしていきたいと思います。今回の研修で自分の夢ももっと大きく広がり、英語にもっと関わっていきたいと思いました。参加できてよかったと思いました。

また今回の全国各地から来た工業生19人で行って本当に良かったです。



Familyで行った Beach

海外研修に参加して

宮城県気仙沼向洋高等学校
機械技術科 3年 生徒

1. ホームステイ

私を受け入れてくれた Coca ファミリーはとても親切で温かい方々でした。私は英語が話せませんでしたが Coca ファミリーの皆さんは一生懸命わかりやすく話してくれました。それに応えようと私も必死に考え、正しい英文になっていなかったと思いますが、単語を羅列しなんとか伝えられるように努力しました。会話が成立するごとに達成感を感じ嬉しくてたまりませ

んでした。言葉の大切さを実感しました。ホストマザーが作る料理はとても美味しく毎日美味しく頂きました。好き嫌い無く食べるとホストマザーも喜んでいただき、そこから会話のきっかけができたりました。休日はバンクーバーの町を案内していただき、海や山に連れていっていただきました。多くの思い出ができました。また会いに行きたいと思うファミリーでした。



映画館にて

2. バンクーバー散策

バンクーバー散策では現地の生徒と一緒にギヤスタウン、スタンレーパーク、キャピラノ吊橋、お土産屋などに行きました。

キャピラノ吊橋ではとても高く揺れる吊橋を渡りました。とても絶景でした。

お昼はバンクーバーの町並みを見ながらホストマザーが作ったサンドイッチを食べました。バンクーバーは山もあり海もあり町がとても綺麗で移動中には映画の撮影をしていました。とても住みやすい町でした。



UBC キャンパスにて集合写真

3. 会社見学

今回はボーイング社、航空博物館、BCIT キャンパスと UBC キャンパスを見学しました。

ボーイング社は、今まで見た工場の中で一番大きかったです。工場の中では私が乗ってきた飛行機の整備や普段聞けない飛行機の話の話を聞きました。

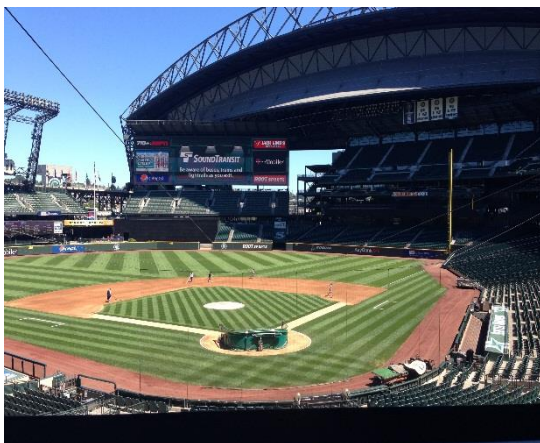
航空博物館では昔の飛行機から今の飛行機の実物が展示してありました。実際に機内に入り飛行機の説明を聞きました。一番驚いたのは音速の何倍で飛べる飛行機を間近で見学できたことです。飛行機の歴史を知ることができてとても勉強になりました。

4. シアトル観光

シアトルではスターバックス 1 号店やダウントウン、セーフコ・フィールド、ショッピングセンターに行きました。シアトルに行くことをとても楽しみにしていたので凄い時間の経過が早かったです。

スターバックス 1 号店ではここでもしか買えない物があり朝早くから長蛇の列が出来ていました。ダウントウンで買い物をしたかったのですが時間が無くなりあまりできませんでした。歩くだけで人から話しかけられて日本では味わえない経験ができました。

セーフコ・フィールドでは球場やベンチ、記者会見室を見学しました。今回は特別に王貞治ルームにも入ることができました。実際に選手が使用している所を見ることが出来てとても嬉しかったです。



セーフコ・フィールドにて球場見学

5. 感想

今回この研修に参加して初めて海外に行きました。

見るもの全てが新鮮で刺激があり片手にカメラを握りながら活動していました。日本とは違い全ての行動がはっきりしていて積極性にあふれていていました。日本では感じられない文化に実際に触れられることがとても良い経験になりました。外から見る日本の長所短所を知ることが出来ました。日本とは違う食文化や生活スタイルで生活してみても外国人の体の大きさの理由、家族との絆、人生のよりよい送り方など日本にはない考え方を学べて本当に良かったです。なにより今回の研修に関わった人全員がとても良い人ばかりで、Coca ファミリーも現地の生徒も参加した先生方も含め、このメンバーと出会い同じ空間で同じ気持ちを共有できたことが一番の経験でした。この研修は日本で経験したことよりも何倍もの良い経験ができ人生で一番の思い出になりました。全国、世界に友達・家族を作ることができて言葉に表わせられないほどの経験をしました。参加して本当に良かったです。参加させてくれた家族にも感謝したいです。

素晴らしい経験をありがとうございました。

また会いましょう。

海外研修を終えて

茨城県立総和工業高等学校

機械科 2 年 生徒

1 ホストファミリー

今回、ホームステイ先が急に変更になりとても不安だったのですが実際に会ってみるととても優しいホス



ホストファミリー宅にて

トファミリーだったので安心しました。

休日には教会やショッピングセンターに連れて行ってくれたので、とても楽しい時間を過ごす事ができ、有意義な時間の使い方ができたと思います。

また、夕食などは自分に合うか心配していたのですがとてもおいしくいただくことができました。

2 Canada

初めての海外だったので飛行機からバンクーバー空港に降りたときにはとても感動しました。BCIT の見学ではとても良い環境で専門知識を学んでいる姿を見て羨ましく思い、学校に航空機がおいてあるというところに感動しました。キャピラノ吊橋ではぐらぐらと揺れていてとても面白かったです。また、カナダの街並みは緑が豊かで芝生などもきれいに整備されているので景観が美しいと感じました。カナダで最後に見学した下水熱を利用し熱エネルギーを生産している施設に私は特に興味を持ち、将来はそのような施設に携わる仕事もしてみたいと考え、また一つ視野が広がりました。



FCEC にて

3 United States of America

アメリカでは、最初にセーフコ・フィールドに行きました。そこでは、普段見られない所やテレビにも良く映る場所に入ることができたので感動しました。その日のホテルではカードキーが壊れていて大変でした。

次の日は、あの有名なボーイング社を見学することができ、飛行機の製造工程を見てその大きさに圧倒されたり工場内のレイアウトが工夫されていたりするのを見て終始感動しっぱなしで、いい経験になりました。

した。



ボーイング社にて

4 感想

初めての海外はとても楽しく良い経験になりました。また、一緒に海外研修へ参加したメンバーはみんな向上心があり楽しい人ばかりでした。今回の海外研修は私自身にとっていろいろな面で大きなプラスになったと感じています。ぜひ、後輩にもこの海外研修を勧めたいと思います。今までの人生で最高の経験になりました。

Thank you!

海外研修に参加して

埼玉県立熊谷工業高等学校

機械科 3 年 生徒

1・ホームステイ

私は 3 人で一緒にホームステイすることになっていくまで部屋の心配などもありましたが 1 人 1 部屋使わせてもらえて、バスルームは 3 つもある大きなお家でした。お世話になったホストファミリーはインド系の家庭で毎晩カレーを作ってくれて日本のとは違うさらさらしたルーでご飯はインディカ米だったので違和感があったけど慣れると美味しかったです。最後の日には辛いカレーを頼んだら作ってもらえて刺激的なカレーでした。

3 人一緒に受け入れてくれたことやお父さんがお

もしも人だったので毎日笑って過ごせました。



ホストファザーと

2・カナダ

バンクーバーではパブリックマーケットやスタンレーパーク、キャピラノ吊り橋などに行きました。キャピラノ吊り橋ではバンクーバーの自然を感じられました。私は登山が好きで日本の自然にも触れてきましたが日本とは違う雰囲気を感じました。



キャピラノ吊り橋

3・ボーイング社工場

シアトルでボーイングの工場を見学しました。飛行機を作っている場所でたくさん飛行機があつて移動にはバスを使うほど大きな工場でした。工場の中はとても明るくてきれいでした。働いている人たちは私服で作業していてヘルメットも被っていませんでした。スナックを食べながらパソコンを使っていたりと楽しそうに働いているのが印象に残りました。

4・シアトル

シアトルではセーフコフィールドや航空博物館に行きました。セーフコフィールドではグラウンドだけではなく、インタビュールームやVIPルームなどにも入って、特にVIPルームからの眺めは最高でした。私は野球にあまり興味がありませんでしたが、いつか生で見たいと思いました。



インタビュールームで

シアトルにはたくさんストリートミュージシャンがいてどこからか歌が聞こえてくる素敵な場所でした。

5・感想

私は外国に住むことがずっと夢だったので気になることや体験してみたいことがたくさんありましたが、身をもって経験したり感じることができました。英会話も思っていたより聞き取ることができて自分の言葉が相手に伝わるのは嬉しかったです。また私の大好きなアメリカの音楽のことを現地の人と話せたのはとても新鮮でした。この研修に参加して外国への興味がさらに大きくなり、様々な国へ行ってもっと長い時間を過ごしてたくさんを経験したいと思います。

あっという間に終わってしまった10日間でしたが仲間や先生、添乗員さんと過ごした時間は忘れられない思い出です。

海外研修に参加して

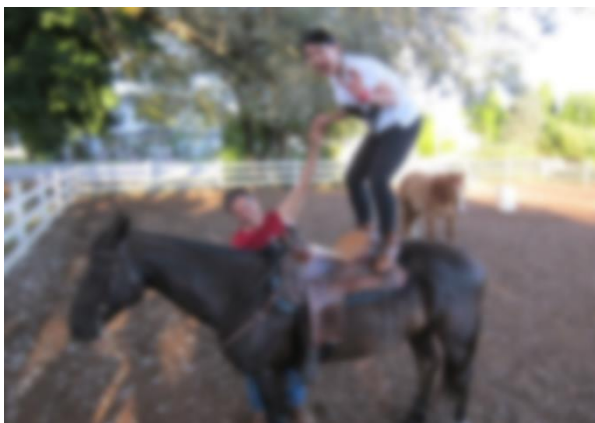
埼玉県立熊谷工業高等学校
建築科3年 生徒

1 ホームステイ

私を受け入れてくれたホストは、とても優しく親切な方だった。また、お家には馬が3頭と犬が2匹おり、はじめはとても緊張していたがみんな快く私を受け入れてくれてとても安心した。家はアンティークを基調としており、オシャレでかわいく外国らしいお家だった。

夕食は毎回、バランスの採れたおいしいものを作ってくれた。手伝う度に「ありがとう」と言ってくれたのがうれしかった。日曜日には日本から持参したカレーのルウを使って、カレーライスを振る舞った。2人とも、とても気に入ってくれてすごうれしかった。また、持参して行った日本のお菓子もひとつずつ「これはなんだ？」と興味深そうに食べてくれた。カレーライス同様にお菓子も気に入ってくれて良かった。

ホストとは、一緒に料理をしたり、自転車で行ったり、折り紙をしたりと、本当に楽しく過ごした。その中でも一番の思い出は、乗馬をさせてもらったことだ。元々、私は動物が苦手で乗馬なんて自分が出来とは思ってもいなかったのですが、実際に乗らせてもらったときはとても興奮した。2匹の犬とも仲良くなれて、以前の私では考えられないほど動物が好きになった。



初の乗馬

最後の夜、ホストが私にプレゼントを用意してくれていた。なかには、夕飯で食べたタコサラダの材料とピ

ーナッツバターチョコレートがあった。それは夕飯時に食べた食事の中で、私が一番気に入っていたもので、ホストはそれを覚えていてくれたようだ。そしてもうひとつ、本当にびっくりするものが入っていたのだ。それは、私がカナダにいる際にホストが撮ってくれていた写真をアルバムにしたものだった。本当に本当にうれしくて涙がでた。最後まで最高のホストファミリーだった。

2 バンクーバー散策

カナダに着き、はじめに立ち寄ったのがグランビルアイランドだ。海外で初めての買い物はパブリックマーケットでのミックスジュース。注文には緊張したが、その分、味もより一層おいしく感じた。また、マーケット内はたくさんのお店があり、一歩外に出ると山が望め、周りにはヨットハーバーがあり、近くには高層ビルがありと、バンクーバーの街を肌で感じる事ができた。自然と街がうまく融合しており、とても素敵だと思った。

専門学校の見学が出来たのは良かった。BCIT では敷地の広さや設備に驚かされた。実際に飛行機、ヘリコプターのエンジンや部品を作り飛ばすことまでしていると知り、日本の専門学校との違いを改めて感じた。専門的に学ぶには絶好の学校だと思った。

3 会社見学

まず、ボーイング社の見学は移動にバスを使った。飛行機を作っているのだから当然だと思うが、本当に会社の敷地はものすごく広く圧倒された。内部の見学は、実際に作業しているところを上から眺めるかたちで、全体を見渡せてとても面白かった。

バンクーバーでは、FCEC という下水熱を利用した再生可能エネルギー施設を見学した。再生可能エネルギーへの取り組みは世界で広がっているということで、そのシステムはとても興味深かったが、説明は勿論英語のためよくわからなかった。この施設を見学して、もっと環境問題に目を向ける必要があると感じた。

航空博物館には、過去に使われていた飛行機などが展示してあった。そこには、今では考えられないよ

うなとても面白い乗り物もたくさんあり、たのしく見学できた。

4 市内観光(カナダ・アメリカ)

カナダは街の中に緑が溢れており、美しい街だと感じた。

キャピラノ吊り橋では、左右に揺れる吊り橋と高さにおびえながらもきれいな景色を眺めることができた。



キャピラノ吊り橋

スタンレーパークで持参したサンドウィッチを食べた。とても広い公園には馬車も走っており、日本では見られない光景に驚いた。

ギヤスタウンのレトロな雰囲気はとても可愛く素敵だった。レンガ造りの古い建物、オシャレにディスプレイさせたショーウィンドウと、どこを見てもワクワクした。

シアトルではマリナーズの本拠地であるセーフコ・フィールドを見学した。実際にメジャーリーグのグラウンドに足を踏み入れ、ベンチにも座らせてもらい、記者の方の席やスイートルームまで入らせてもらい、楽しかった。



セーフコ・フィールド

スターバックスの一号店にも行くことができた。私は、スターバックスが大好きでいつか行けたらいいと思っていたので、本当に興奮した。初代のロゴの入ったマグカップを買うことができて大満足だった。

5 感想・その他

今回の海外研修が私の初めての海外だった。初めて行く国に、初めてのホームステイと、たくさんの初めてに不安があったが、すぐにその不安は消え楽しく過ごせた。10日間という長そうでもとても短い日々は毎日が充実していて、心から楽しいと思えた。

私はこの研修に参加して、自分のコミュニケーション能力を確認するとともに、一番大切なのは言葉を伝えようとする気持ちだということを学んだ。また、自分から行動しないと意思が伝わらない場所に行くことで、積極性や自信を得ることができた。そして、自分の考えを言葉にすることの重要性をひしひしと感じた。さらに、異国の文化に触れることで以前の私よりは視野を広げることができたと思う。

この研修ではたくさんの出会いがあった。全国から選ばれて集まった工業高校の生徒と友達になるだけでなく、カナダ人学生とも仲良くなれたことはとてもうれしかった。離れても SNS で繋がれる時代なのでこの縁を大事にしたい。

この研修でさせてもらったこと、全てが私にとって大切な思い出となった。この経験を忘れず、これからの進路に活かしていきたいと思う。

私がこの海外研修に参加する上でお世話になったすべての方と参加することにいち早く賛成してくれた両親に感謝したいと思う。ありがとうございました。

カナダ・アメリカ 10 日間の思い出

千葉県立東総工業高等学校
情報技術科 3 年 生徒

1 ホストファミリー

僕がお世話になったホストファミリーの方々は初対

面でもとても優しく接してくれました。

また、僕達の為に専用のトイレやシャワーも用意してくれていたのもとても快適に過ごすことが出来ました。

休みの日には教会に行き、皆で歌を歌ったりしました。そして、子供たちとは一緒にバスケットボールをして遊びました。4人ではしゃいだ時間はとても楽しかったです。



ホストファミリーとの1枚

2 バンクーバー見学

僕たちはBCITという専門学校を見学したのですが、主に飛行機の仕組みや技術を学ぶ学校でした。飛行機を扱う学校なので校内はとて広く設備もしっかりとしていました。



BCITでの集合写真

キャピラノ吊り橋では、自然が広がっていて空気が澄んでいました。吊り橋はとて長く、想像以上に揺れたので写真を撮るのが困難でした。リスなどの小動物がいると思ったのですが、残念ながら1匹も見ることができませんでした。

スタンレーパークではたくさんのトーテンポールがありました。また、野原で皆とお弁当を食べました。昼食後に海岸へ行き、美しい景色を臨みました。

ギヤスタウンでは蒸気時計台があり15分毎に音楽を奏でます。スマイリーズというお土産屋さんではクッキーを購入しました。また、店員さんが日本人だったのでお買い物もしやすかったです。

3 シアトル見学

マリナーズの本拠地であるセーフコ・フィールドを見学しました。球場はとて広くグラウンドはしっかりと整備されていました。

航空博物館では、飛行機の歴史についてのお話を聞きました。たくさんの飛行機が展示されており、その中でも音速で飛ぶという飛行機にはとて魅力を感じました。

ボーイング工場では一般の方々と工場内を見学しました。工場内の飛行機は組立途中だったので、普段僕達が見ている飛行機とは少し違いました。

ダウンタウンではスターバックス1号店に行きました。1号店のキャラクターは少々気持ちが悪かったです。また、ここでの景気はとて美しかったです。



シアトルの美しい景色

今回の海外研修で自分自身の英語力を十分試すことが出来ました。しかし、現状としてはまだまだ未熟なのでこれからもしっかりと英語の勉強をしていきたいと思います。

カナダ・アメリカ研修報告

東京都立 工芸高等学校
デザイン科 2年 生徒

カナダ・アメリカでの研修は、初日から長いフライト、長い一日と、少しハードでしたが、とても充実した10日間だったと思います。

ホームステイというのは初めての経験で、日本で準備をしているときから不安でいっぱいでした。現地でも緊張したままホストファミリーとの対面を迎え、なかなか自分から口を開くことができずにいましたが、ホストマザーがとても親しげに接してくれたので、少し不安と緊張が和らぎました。ただ、あまりに私の口数が少なかったために、滞在中何度かマザーに「恥ずかしがるのはやめなさい!」と注意されてしまいました。

カナダは本当に自然が豊かで土地も広大、ずっと先まで長く続くフリーウェイの道路は、日本では見られない風景なので、移動中もずっと景色を楽しんでいました。全日程を通してスクールバスで私たちをあらゆる場所に連れて行ってくれたアランの運転も、スリリングでとても印象的に残っています。

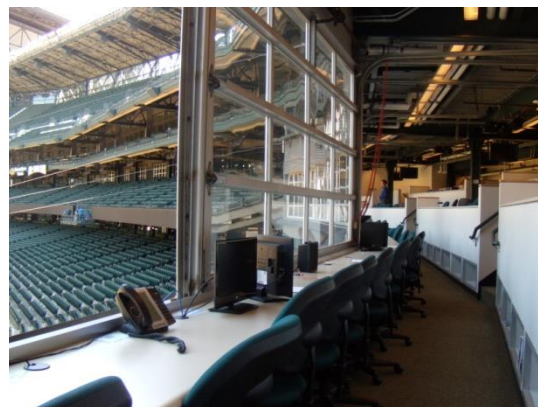


スクールバスとアランの後ろ姿

3日目、国境を越えアメリカに入国すると、町の雰囲気も変わり、また車窓からの景色に釘づけでした。セーフコ・フィールドの見学では、スタンド、グラウンドからベンチ、プレスルームまで、普段は絶対に立ち入れないであろう場所を進み、様々なものを見ることができ感激でした。ちょうどその日、ナイターで岩隈投

手が先発出場すると聞いて、応援の念をこめてグラウンドの土を踏みしめました。

シアトルのホテルで、テレビ中継で岩隈の投球を見ながら大盛りの食事をいただき、一泊。



マスメディア専用のプレスルーム

次の日は、前々から心待ちにしていたダウンタウンのスターバックス1号店へ行き、コーヒーと限定グッズを手にしてすっかり観光気分。その後のボーイング社工場の見学では、現地の一般の人々と一緒の見学ツアーで、終始ガイドの早口な英語を聞きとるのに必死でした。貨物用のエレベーターに乗り込み地下へ潜っていくのはとてもワクワクしました。

カナダに戻ってから、土日はホストファミリーと過ごしました。親戚の誕生日パーティーや教会でのお祈りなどで、息子のノーブルやその友達の子供たちとたくさんコミュニケーションを取り、そのおかげで少し英語での会話にも慣れました。私は小柄なので、行く先々で子供たちのグループに混ぜられて「遊んでおいで!」と言われることが多く、年齢を聞かれて「17歳です」と答えると、皆に驚かれ、カナダ人との体格



決めポーズのノーブルと2ショット

の差を実感しました。でも、楽しく体を動かして遊んだのはとても良い思い出になりました。日曜日には、ファーザーにダウンタウンに連れて行ってもらい、ノーブルと 3 人で交代しながら写真をたくさん撮りました。

8 日目、カナダ人生徒との交流会、ホストファミリーとのさよならパーティーで、私はホストファミリーに向けての感謝の言葉を発表しました。残念ながら私のホストファミリーは来ることができず、スピーチを聞いてもらうことはできませんでしたが、他のファミリーの皆さんに「良いスピーチだったよ」と声をかけてもらい、とても嬉しかったです。

夜、家に帰ってから、ファミリーと一緒にテーブルを囲んでディナーを食べながら、滞在中にこっそり作りあげたポップアップカードを渡して、スピーチで伝えられなかった分の感謝の気持ちを伝えました。

この海外研修に参加したことで、自分の意見や意思を伝えることの難しさ、大切さを改めて感じました。言葉がうまく通じなくてやきもきしてしまうときも多く、まだまだ勉強が足りないなと思いました。ですが、8 日間の滞在中で、日本とは違う暮らしをし、違う文化に触れて、たくさんの楽しい思い出と、素晴らしい体験ができました。きっと、これからの生活に活かせる良い経験になったと思います。

海外研修に参加して

東京都立中野工業高等学校
総合技術科 2 年 生徒

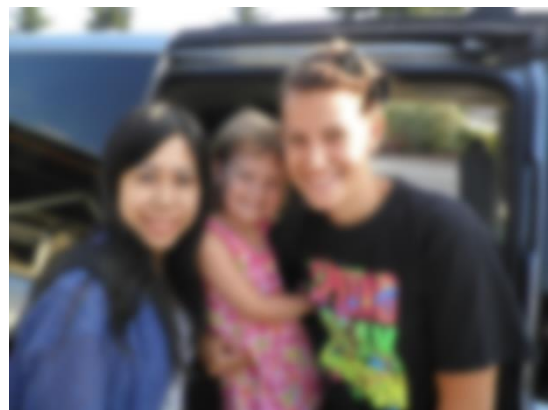
1 ホームステイ、ホストファミリー

ホストファミリーと対面する少し前にホストファミリーの変更を知り、とても不安になったけれど、とても優しく楽しい家族だった。ちゃんと英語が話せなくても単語などを使って想いを伝えようとする、一生

懸命理解しようとしてくれて本当に嬉しかったし、伝わったときは心から喜んだ。家にはよくホストファミリーの親戚や友達が来るけど、みんな私の話をちゃんと聞いてくれて、色んな人とも会話ができて楽しかった。

夕食はよくバルコニーで食べていました。ホストマザーの作る料理はとても美味しくて、外での食事はとても気持ちよくて、色んな話もよくそこでしました。

そして家には 3 歳の女の子と 1 歳の男の子がいるのですが、毎日庭の大きなトランポリンやブランコで遊んだり、鬼ごっこしたり、疲れるまで遊んでとても仲良くなれました。



ホストファミリーと

休日には、ベリーファームや湖や教会に連れて行ってもらいました。ベリーファームではホストファーザーの親戚と 15 人くらいでワッフルを食べたり動物を見たりして、みんなとても優しく私に話しかけてくれました。

湖はとても綺麗で周りにもたくさんの木々があって、とても癒されました。水遊びをしたり、日光浴したり、本を読んだりとても楽しい時間を過ごせました。また、私は教会に行くのは初めてだったのですが、想像していたのとはあまりにも違い、驚きました。バンドの演奏と一緒に歌を歌ったり、話を聞いたり、カジュアルな感じでした。日本では行くことがないのでとてもいい経験ができました。

最後にホストマザー、ファーザーに Thanks Card を渡した。写真やメッセージが飾ってあるところに、一緒に飾ってもらえて嬉しかったし、ホストファミリーに

は本当に感謝しています。

2 バンクーバー散策

Canadian の生徒と一緒にキャピラノ吊橋や、スタンレーパーク、ギヤスタウンに行きました。キャピラノ吊橋はとても高くて、すごく揺れるので、少し怖かったけど、とても楽しかった。吊橋の下に綺麗な川が流れていて、周りには木々があり、眺めは最高でした。スタンレーパークでは、みんなで昼食をとり、Canadian の生徒ともいっぱい話せてよかったです。彼女たちは、私たちと行動するとき積極的の話しかけてくれるので、とても助かりました。そして仲良くなれて嬉しいです。



キャピラノ吊橋からの眺め

3 会社見学(ボーイング社工場、博物館、現地企業)

まず、海外の会社を見学することは滅多にできないし、貴重な経験をさせてもらいました。特にボーイング社工場の見学は、日本ではできないので、とても面白かったです。ボーイング社では飛行機の組み立てを見学させてもらいました。外には色んな国の飛行機があってその中には ANA や JAL もあり、まだ日本で飛んでいないと思うと少し不思議でした。

航空博物館では、様々な飛行機があり、とても丁寧に説明してもらいました。車と飛行機が合体している面白い飛行機もあったけど、昔の戦争に使われた戦闘機や戦争のことも説明してもらいました。海外の歴史も聞けて良かったです。そして、スペースシャトルで使われる機械や、ジャンボジェット機の中も見学することができました。



航空博物館にて

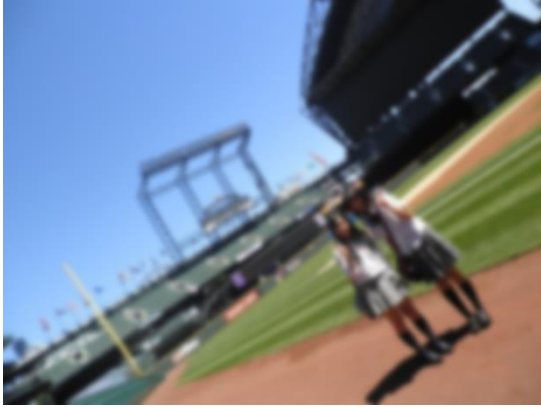
現地企業見学では、下水熱を利用した熱エネルギーを生産しているという会社を見学しました。下水熱を再利用すると、省エネになり、環境にも良いなんて知らなかったし、2013 年の今年に作られた会社だというのがにも驚いた。そして、東京にも同じような下水熱を利用したシステムがあるらしい。私は知らないことばかりだったし、今は Southeast False Creek エリアだけらしいので、もっと広がるといいなと思った。そして私も環境問題のことを考えさせられました。

4 市内観光(カナダ・アメリカ)

カナダでは、BCIT キャンパスと UBC キャンパスを見学しました。BCIT キャンパスでは、交通工学部の航空宇宙学関連の施設を見学した。初めて見るものばかりで、興味深かった。特に印象に残ったのは、先生や本を読むだけではなく、手で触りながら学ぶ Hands learning が大事だと言っていたことです。他にも色々な部屋があり、自分たちでエンジンや、飛行機を触ることもありました。外にはジェット機から、小型飛行機、ヘリコプターなど 30 機程あり、大きなエンジンやボディも見させてもらいました。BCIT キャンパスには航空宇宙学以外にも、ビジネス、健康科学、IT、製造/産業工学、建築学、環境学などがあるようです。

アメリカでは、セーフコ・フィールドとシアトルダウンタウンに行きました。セーフコフィールドではグラウンドに入れてベンチにも座れてとても嬉しかったです。インタビュールームや解説席、記者席、王貞治の名前がついたスイートルームなど、普段見られないよ

うなところも見学させてもらって、とても楽しかったです。



セーフコフィールドにて

ダウNTOWNでは、スターバックスの1号店に行きました。1号店のロゴマークは少し怖かったけれど、行くことができて良かったです。ダウNTOWNには沢山のお店がありました。あまり見られなかったけれど、湾の景色も綺麗でした。

5 感想

最初は緊張していましたが、10日間は本当に早くとても充実した時間を過ごすことが出来ました。様々な経験をさせてもらったことにとても感謝しています。これらの経験を活かして、将来に繋げられるように、より一層勉学に励み、色々なことに挑戦して、自己研磨していきたいです。そして、ホストファミリーやCanadianの生徒、19人の工業高校生との出会いは私の大切な思い出となりました。

～アメリカ・カナダの旅を終えて～

福井県立科学技術高等学校
テキスタイルデザイン科2年 生徒

1 ホストファミリーの思い出

ホストファミリーと対面し、車に乗った時はとても緊張して、何を話していいかも分かりませんでした。しかし、家族皆が優しく温かく迎えてくれたので、笑顔で話すことが出来ました。ファミリーが私に話す時はゆっくりで簡単な単語を選んでくれていたと思うので、理解出来ました。しかし、ファミリー同士の会話は全くと言

って良いほど分かりませんでした。それが分かったら何倍も楽しいだろうなと思ったので、これからもっと勉強して、また会いに行きたいと思います。



ホストファミリーと

ビーチや教会、レストランなど、沢山の所に連れて行ってもらいました。どこも眺めが綺麗だし、広くて素敵な所ばかりでした。料理も美味しかったし、とても感謝しています。

2 カナダの思い出

バンクーバー散策で1番心に残っているのは、キャピラノ吊り橋です。カナディアン(カナダ人)の学生さんと一緒に「Shake! Shake!」と言いながら渡るのはすごく楽しかったです。それと同時に、カナディアン(カナダ人)の学生さん達と1番仲良くなれたきっかけだったと思います。



キャピラノ吊り橋にて

3 アメリカの思い出

ボーイング社は、とにかく大きい!という印象を受けました。飛行機が何台も入るスペースの工場で、しかもエレベーターは100人くらい入りそうな大きさでし

た。驚きの連続でした。パソコンを操作している人、実際に飛行機に塗装したりしている人など、いろいろな仕事がありました。あんなに沢山の人のお陰で飛行機が丈夫に作られているのだなと思うと、とても感動しました。

アメリカでの1番の思い出は、セーフコ・フィールドに行ったことです。私はあまり野球に詳しくなかったのですが、イチロー選手がいたところに自分も来たんだ！と思うと興奮していました。インタビュー室や、ファンクラブの人が入る部屋など、貴重な部屋に沢山入ることが出来て、とても嬉しかったです。

スターバックス1号店では、そこにしかないとてもレアなロゴマークを見ることが出来ました。話に聞いていた通り、今のものより少しグロテスクな感じでした。

ホテルのレストランでは、メニューから品物を選ぶのが大変でした。写真も絵もないので、英語を読解するしかなかったからです。皆で協力して一つずつメニューを見ました。ちゃんと頼んだものが出てきて良かったです。しかし、予想以上に前菜の量が多くてびっくりしました。主菜よりも多かった気がします。デザートプリンやチーズケーキも日本のものとは比べ物にならないくらい大きさでしたが、味は格別に美味しかったです。



セーフコ・フィールドにて

4 全体の感想

最初は、全国から集まった仲間たちとちゃんと打ち解けられるか、カナダで物を失くしてしまったりしないか、しっかり英語を話せるかなど、不安もありましたが、

引率の先生方やさおりさん、あきこさん、全国から集まった工業高校生、カナディアンの学生さん、ホストファミリー、出会った方皆さんがとても優しくしてくださったお陰で、そんな不安はすぐに消えました。ご飯が口に合わなかったり、量が多すぎたり、時差ボケが直らなかったりと、大変なこともありましたが、それら全てを含めて私にとって素敵な思い出です。夢のような10日間でした。ありがとうございました。

カナダ研修の報告

福井県立春江工業高等学校

機械科2年 生徒

今回のカナダ研修は自分にとって初めての飛行機、海外旅行、ホームステイなど初めてづくしでした。

カナダについてたときに最初に思ったのは、晴れているのに意外と涼しいと思いました。ああ、ここはカナダなんだと改めて実感しました。

初めてホストファミリーと対面したときは、とても緊張



ホストファミリーと撮った写真

しました。しかし、ホストファミリーの人はわかりやすい英語をしゃべるよう務めてくれて、すごくありがたかったです。

御飯もたくさん出てきたので、三人で残さず食べました。残すのは大変失礼だと日本で聞いたからです。

ホストファミリーとは海岸に行ったのがとても楽しかったです。本当にきれいな海岸線で、沈む夕日がとても幻想的でした。土日にはショッピングモールにつれていっていただきたくさん買い物をしました。とても楽しかったです。

アメリカのシアトルでは、スターバックス一号店に



スターバックス一号店より

行きました。オリジナルロゴマークを使っておりしっかり写真を撮りました。お土産もたくさん買ってダウンタウンを去りました。

そのあとは、ボーイング社の見学に行き、広い敷地内をバスでの見学になりました。

中は本当に広くて、未完成の飛行機がたくさんあり、とても興奮しました。難しい専門用語をしゃべっていたので理解するのに一苦労でしたが意味をしらべてみるとすぐ理解できました。帰りのバスは疲れがたまっていたので寝てしまいました。また、晩御飯のカレーもよいしかったです。

BCIT の見学では、大きな工場内を見学しました。専門学校であり Hand's on learning 頭で考えたり教科書を読んでばかりではなく実際に機械にふれたり、見たりすることという言葉にとっても共感しました。本物の飛行機を見たときの感動はいまでも忘れられません。飛行機のことなので難しい単語がたくさん出てくると思ったけど、わかりやすい言葉を選んでくれたのでよくわかりました。

今回の海外研修で自分はまだまだ未熟だと思いました。ですが今回の研修で自分の良いところまた、悪いところを自分なりに見つけられたと思うのでよかつ

たと思います。研修先で会った人達やホームステイ先の人達がとても明るく毎日がとても楽しかったです。8日間本当に充実して楽しい日々を送れました。今回の海外研修で支えてくださった先生方や両親への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。



BCIT の工場内

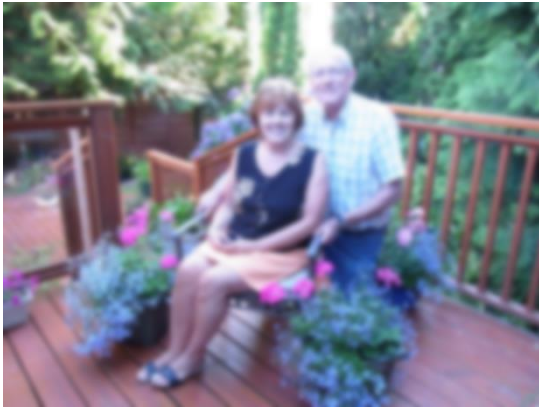
広い世界を見る第一歩

静岡県立浜松工業高等学校

デザイン科3年 生徒

1 ホームステイ・ホストファミリー

初日にマーケット見学をした後ホストファミリーと初対面、ホームステイ生活が始まった。ホームステイは今回の研修で最も不安な内容だった。でもそれは違った。ホストファミリーは予想以上に優しく気さくで本当にいい人たちで快適に生活できた。なによりもホストマザーの作ってくれるご飯が美味しくて食に関する不安は初日の夜に吹き飛んだ。部屋もホテルのような部屋にダブルベッドで快適だった。休みの日には海へ連れてってくれたり買い物が好きだと言ったらショッピングモールに連れてってくれたりした。カナダにもうひとつの家族ができた気分だった。



ホストマザー・ホストファザー

2 バンクーバー散策

キャピラノ吊橋、スタンレーパーク、ガスタウン(ダウンタウン)に行った。カナダは乾燥していて夏なのに長袖が手放せない気候だった。外に出ているとすごく気持ちいい風が肌に当たる。ただ日差しは強いがとても気持ちいい。そんな気候の中散策をすることができて経験的に良い影響を与えるだけでなく体にも良い影響があったと思う。とてもリフレッシュできた。

吊橋は予想以上に揺れた。わりと侮っていたけども高所恐怖症の人には辛いかもしれない。でも自然がものすごくきれいだった。スタンレーパークには吊橋にもあったトーテムポールがたくさんあってすごく可愛かった。敷地がとても広くてまた来る機会があるならゆっくりと回りたいかった。ガスタウンはダウンタウンの中でもガラッと雰囲気が変わって情緒ある街並みですごくお洒落だった。



ガスタウン

お店のディスプレイや看板も個性的で良い刺激を受けることができた。この散策はカナダ人学生と行ったけどみんな気さくで英語が上手いと言えない私た

ちでも分かるように話してくれたり一緒にご飯を食べたり本当に楽しい時間を過ごせた。

3 会社見学

ボーイング社はとにかく大きかった。普段は見られないものを間近で見られてよかった。自分が乗った飛行機が作られている瞬間を見られるのは何とも不思議な感覚だった。発電所は下水道から…というここにしかないものを見られてよかった。

4 市内観光(カナダ・アメリカ)

シアトルはカナダと同じで少し肌寒かった。セーフコ・フィールドは中にまで入れて感動した。たまたま日本人の人が案内してくれたおかげで野球にあまり興味なくてもおもしろかったしすごくいい経験になったと思う。

航空博物館はたくさんの飛行機があって見るだけでも面白かった。説明はすべて英語だったけど少しは分かるので話もおもしろかった。ホテルについてからの夜ごはんはブッフェだったけど、一品食べるのにすごく大変だった。物はとても美味しいけど量がとにかく多い。確実に太る。ただデザートチーズケーキは本当に美味しかった。

2 日目はスターバックス 1 号店とマーケットに行った。スタバが大行列でスタバで買い物するだけで時間が無くなってしまったけど、これも人生で経験するのは今回しかないと思うと行けて良かったと思う。その後ボーイング社に行った。



スターバックス 1 号店

5 感想

今回の研修は行くまでにたくさんの不安があった。

初めての海外、初めてのホームステイ、初めて会う仲間…何が必要で何が足りないのかも分からないそんな状態だった。でも、初日に全国からきた仲間に出会った時に不安はほとんど吹き飛んだ。今思うと海外での研修という経験ができたことも本当に素晴らしいことだけど全国に友達ができたということが本当に良かったと思っている。今回の研修で将来海外に行くという選択が明確に見えてきて行って良かったと本当に思った。

海外研修に参加して

静岡県立浜松工業高等学校
デザイン科3年 生徒

1 ホームステイ、ホストファミリー

病気ということで当初の予定とは違うホストファミリーのところへ行くことになって心配でしたが、優しく愉快的な人たちでとても安心しました。家もとても広くて綺麗で外国らしい家だと思いました。最初は英語を聞き取るのも難しかったですが、だんだん慣れていって、最後には会話できるようになって良かったです。

お互いの国の文化の違いを話したり、一緒に買い物や公園にも行きました。バスケットボールコートに行ったりしてたくさん遊びました。とても楽しかったです。



ホストファミリーと

2 バンクーバー散策

キャピラノ吊り橋がすごく揺れました。木とかも日本と

違った種類の木が多くて新鮮でした。バスからハリウッドの映画撮影の現場を見ることができてラッキーでした。バンクーバーのダウンタウンは街並みがほんとに可愛かったです。外国って感じでした。お土産屋もたくさんあったので助かったし、可愛いものばかりだったのでたくさん買ってしまいました。



キャピラノ吊り橋

3 シアトル観光

アメリカはカナダより都会でした。本場のハンバーガーを食べたけどやっぱり大きかったです。セーフコ・フィールドで選手が実際に座っているベンチに座れて嬉しかったです。スターバックスの1号店は混んでいたけど、行くことができて嬉しかったです。



セーフコ・フィールド

4 感想

行く前は英語がとても不安だったけど、現地の人は私たちの言いたいことを理解しようと努力してくれたし、私たちに分かりやすく話してくれたので、コミュニケーションをとることができました。日本とは違った気候や文化に最初は戸惑ったけど、体調を崩すこと

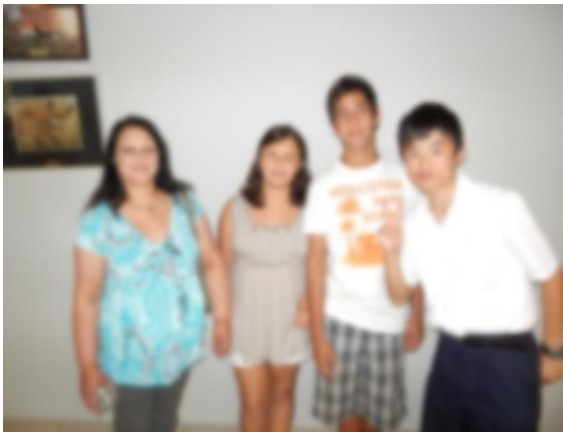
もなく、楽しく 10 日間を過ごすことができたので本当によかったです。

～カナダの文化に触れて～

愛知県立岡崎工業高等学校
土木科 1年 生徒

1 ホームステイ、ホストファミリー

Perera さんのお宅で約 10 日間お世話になった。家族は、4 人家族で 14 歳の Lashan さんと 10 歳の Ashani ちゃんがいた。



ホストファミリーと一緒に

Lashan と Ashani とはラクロスをしたり、折り紙を折ったりして遊んだ。ある日、Lashan と一緒に犬の散歩に行ったときに嬉しい出来事があった。散歩中、Lashan がポケットから手を出した時に、一緒に昨日作ってあげた(折り紙の)手裏剣が落ちた。その時、Lashan は「いつか作れるようになりたいな」と言ってくれた。大切に持っていてくれて嬉しかった。カナダに行く前に、日本で折り紙の練習したかいがあったなあと思った。

ホストマザーとは、映画を見た。いつも、「Are you tired?」と体を気遣ってくれた。休日は、ホストファミリーが、バンクーバー市内を車で案内してくれた。とても、優しい家族で、研修中の疲れを癒してくれた。

2 カナダ

とても涼しく、日中 22℃位で過ごしやすく、朝は肌寒いほどだった。街並みがとても綺麗で、テーマパ

ークの様だった。道路は、制限速度が高めでガードレールが少なく、驚いた。

キャピラノ吊り橋は、1989 年に作られて、長さが約 137m で高さ 70m あり、ゆらゆら揺れるので、スリルを味わうことが出来て、楽しめた。



キャピラノ吊り橋にて

しかし、吊り橋には人数制限がなく、大丈夫かなあと少し心配になった。

自然がとても豊かで気持ちがよかった。また、ゴミが一つも落ちていなくて、感心した。溪谷美が楽しめて、よかった。

3 アメリカ

カナダからアメリカへの入国審査で指紋や顔の写真を撮るのだが、入国審査官の言葉が理解できず、苦勞した。

カナダとアメリカは隣どうしの国だが、アメリカは銃規制がなく日本とは違う考え方を持っていることを思い知らされた。早く穏やかなカナダに戻りたい！と思ったくらいだった。

4 航空博物館 見学

僕の中でおもしろかったのが航空博物館だった。

航空博物館では元パイロットの方が案内してくれた。その方の話の中で最も印象に残ったのは「コンコルド」という飛行機。事情で、今は飛行してないが、アメリカとロンドンを当時約 4 時間で飛行する高速飛行機だ。現在は、7 時間位かかる。約 45 年前から人々にこんな技術があったことに驚いた。



航空博物館 コンコルドの前にて

5 カナディアン

カナディアン(カナダ人)は優しくった。人込みでぶつかって「Sorry」というと「It's OK」や「No problem」などと必ず言ってくれた。また、気さくな方が多く、「どこから来たの?」と話しかけられたことも多々あった。



アランさんとスクールバスの前で一緒に

6 最後に

今回の海外研修に参加し、世界共通語である英語がいかに大切かがよく分かった。そして、自分の英語能力のなさをよく理解することが出来た。電子辞書で調べたり、単語をつなぎ合わせたりして、一生懸命英語を話しても伝わらなかった。悔しい思いを何度もした。しかし、そんなたどたどしい僕の英語を向こうの人は聞いてくれ、嬉しかった。

この10日間とても有意義な研修を送ることが出来た。本当に毎日が楽しく、あっという間だった。この楽しい日々がおくれたのは、18人の仲間と引率の校長先生、旅行会社の添乗員さん、現地のガイドさん、岡崎工業高校の先生方、両親のおかげだと思う。

今回の海外研修で学んだことを、今後の人生に生

かしていきたい。

初めてのことばかりの海外研修

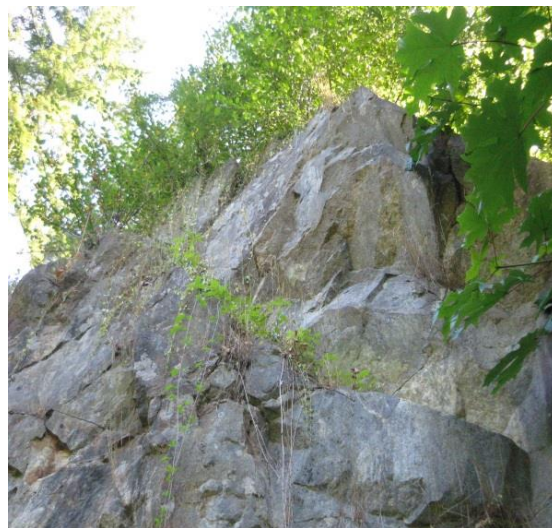
愛知県立刈谷工業高等学校

機械科2年生 生徒

1 外国

カナダ

とても広く、自然豊かなカナダのブリティッシュ・コロンビア州はこの夏の時期以外はほとんど雨だそう

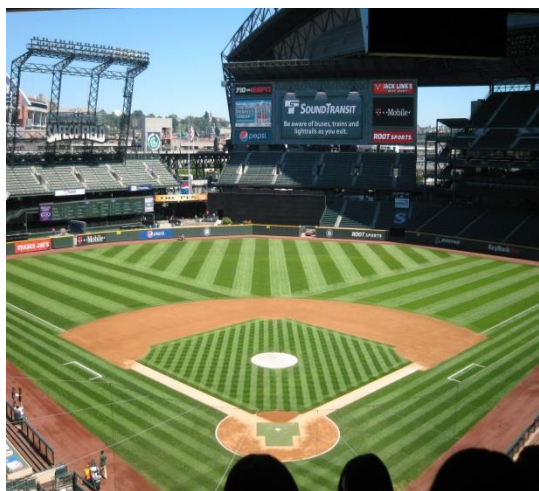


キャピラノ公園にて

です。今年は特に天気に恵まれ、とても良い日々が送れました。見た感じよりはるかに広いおうち、たくさんの自然、いろいろな人々、感覚・表現の違い、生活習慣の違い。一番驚いたのが食の違いを自分の舌で感じる事ができました。このすべての経験のひとつひとつが、私にとって異文化を感じるかけがえのないものとなりました。

アメリカ

アメリカのシアトルもカナダのブリティッシュ・コロンビア州と同様に雨ばかりだそうです。シアトルでは、飛行機で有名なボーイング社や、野球のシアトルマリナーズの本拠地セーフコ・フィールドの見学をしました。私は野球場が初めてでその広さに驚きましたが、東京ドームと同じくらいの広さだそうです。



毎日手入れされているグラウンド

2 会社見学

ボーイング社の見学をしたときは、そのスケールの大きさに驚きました。広さ、大きさ、構成など私の感覚とは全然違いました。飛行機の作られる行程や整備などに興味があったので、見学という貴重な経験ができて本当に良かったです。

バンクーバー現地の工場は、再生可能エネルギーの一つである下水熱を利用した熱エネルギーを生産して、地域のエネルギーとして供給している工場でした。私のイメージの工場よりは広くなく、臭くなく、こざっぱりしたところでした。

3 ホストファミリー

私のホストファミリーは、お父さん・お母さん・12歳の息子・9歳の娘の4人家族でした。ホストファミリーは、全然英語が喋れない私を温かく迎えてくれました。休みの日には海や親戚の家でのパーティに連れて行ってもらいました。子供達が水泳をやっていて一緒にプールに行ったり、公園にサイクリングに行ったりもしました。

折り紙を日本から持って行ったのですが、息子が折り紙好きだとわかり良かったのですが、私は折り方をすっかり忘れてしまいました。そして、折り紙の本を持って行かず、かすかな記憶を頼りにしていたため息子に「何か教えて！」と言われてもあまり教えてあげられなかったのが心残りです。娘はキティちゃんが大好きでした。

2人とも本当に可愛かったです。



さよならパーティで

4 感想

私はこの十日間という決して長いと言えないような時の中でいろいろな異文化にふれる事ができました。

それは、お金を出してくれた祖父、応援してくれた周囲の人々、カナダやアメリカでお世話になった人々など、たくさんの人の支えがあってこそだと思っています。いくら感謝しても足りません。この経験を自分のこれからに繋げていけるよう、頑張っていこうと思います。

本当にありがとうございました。

Good ten days

大阪市立都島工業高等学校

都市工学科 3年 生徒

1 バンクーバーにて

僕は海外に行くのは今回が初めてでした。だから、バンクーバーに着いたときは「これがカナダの空気か〜」「カナダ人は、皆、背が高いな〜」などバンクーバーで見た一つ一つのことに驚いてしまいました。

バンクーバーは、とても自然が豊かでゴミが1つもありませんでした。後にホストマザーに聞いたところカナダ人にとってゴミを捨てることは常識で、逆にゴミ捨てをする人はカナダ人でないように見られるらし

いです。また、ゴミ箱の量もかなり多かったので、いつでもゴミを捨てられるようになっていました。「このところが日本と違うな」と思いました。

カナダ人学生との交流は、とても英語の勉強になり面白かったです。



カナダ人学生とバス内にて

観光した先では、キャピラノ吊橋はとても揺れたので酔いかけてました。「とても長いあの橋をどうやって作ったのか？」と考えた結果、もしかしたらペットボトルロケットを使って端から端までワイヤーを飛ばしたのではないかと思います。

2 シアトルでは

シアトルは、まさに芸術的な町でした。あの町の形、道路の広さ、ビルに落書きされた絵どれもが芸術的でした。

シアトル一日目では、マリナーズのセーフコ・フィールドに行きました。さっそく球場を見たときは驚きました。

芝生屋の人たちが、毎日しっかりと手入れしているようです。「だからマリナーズの選手はいつも最高のプレイができるんだな～」と思いました。



セーフコ・フィールドの記者会見ルームにて

ボーイング社では、飛行機の仕組みや飛行機が作成される順序などの説明を受けました。初めて飛行機の中を見学した時は、驚きました。精密機械がたくさんあって、一ミリでも間違えたことをするとすぐ故障するのがわかりました。

航空博物館の屋内では飛行機に関する歴史をたくさん見ることができ、屋外ではもう廃棄された飛行機がありました。また、ガイドの人もゆっくり英語を喋ってくださったのでわかりやすかったです。

3 ホームステイ

ホストファミリーには、本当に感謝しています。僕は初めから積極的に喋ったので、初日からコミュニケーションをとることができました。またわからない英語があれば電子辞書をフルに活用して喋りました。それでもわからない時は、一緒にホームステイした仲間に聞いて教えてもらいました。

ホストファミリーは、14歳の息子のラシャンと10歳の娘のシャニーと両親の四人家族でした。

休日は、ホストファーザーがスタンレーパークへ連れて行って下さいました。スタンレーパークはとても美しい街で、日本では決して見られない町でした。それ以外にもたくさん連れて行って下さいました。また、とても優しくして下さいました。だから、別れの時はとても寂しく感じてしまいました。



ホストファミリー宅にて

4 感想

この研修ではホストファミリーやカナダ人学生以外にもたくさんの人に出会いました。添乗員のサリーさんやアキコさんや2名の校長先生やシアトルのウマミヤで出会った日本人のおばちゃんやセフィコフィールドのテッドなど数えきれないほどの人たちと出会え

ました。この出会いは僕にとってプラスになることばかりでした。

たくさんの人たちと出会ううちに、自分なりに気づいた事があります。それは、相手と話すときは、常に、笑顔を忘れずにしゃべるということです。自分が笑顔でいると相手は「あの人はいい人そうだな～」とってくれるのです。ですので、笑顔はとても大切だと思います。

最後に、また、カナダに行くことができれば、もっと英語力を磨いて流暢に会話できるようになってから行きたいものです。

カナダ・アメリカ研修で感じたことや分かったこと

徳島県立徳島科学技術高等学校
環境科学コース 3年 生徒

1 ホームステイについて

私はこの研修で初めて海外に行きました。

なので、行く前はホームステイどころか、日常での英会話もうまくできるかどうかの心配でいっぱいでした。しかし、実際にホストファミリーに会ってみると、ゆっくり、はっきり喋ってくれるので簡単に理解することができました。



ホストファーザーと

ホストファミリーはインド系で、夕食はほとんどカ

レーでした。しかし、毎晩同じではなく、スープカレーやチキンカレーで、毎晩飽きませんでした。

また、カナダの人々は日本人に比べ、映画をよく見ることは驚きました。私のホストファミリーに限ったことかもしれませんが、インド映画が多い気がしました。

2 カナダについて

今回私たちはバンクーバーの家庭にホームステイしました。バンクーバーというと、2010年の冬季オリンピックの開催地やアメリカのニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ映画撮影が盛んな都市です。そのため、たくさんの観光地があります。



ギヤスタウンにて

キャピラノブリッジ、スタンレーパーク、チャイナタウン、ギヤスタウンなどがあり、特に印象に残った場所は、ギヤスタウンです。ここには15分ごとに蒸気を噴き上げる有名な時計があり、街並みも昔ながらで素晴らしかったです。また、街の一角で日本人が経営するお土産店もお手頃な値段でメイプルシロップやお菓子が買えたのがありがたかったです。

3 アメリカについて

アメリカへはカナダ国境を越えて入国しました。アメリカに入国するのは、カナダに入国することよりも厳しいことを知りました。なぜならアメリカに入国する際、両手の指紋をとられる上にパスポート、荷物検査もあり検問所ではカメラ持ち込み出来ないという厳しい検査だったからです。

アメリカではおもにシアトルを観光しました。シアト

ルではマリナーズのホームスタジアムであるセーフコ・フィールドを見学しました。



セーフコ・フィールドにて

現在マリナーズで活躍している岩隈選手を見ることはできませんでしたが相手チームのツインズのウォームアップを見ることはできたので良かったです。

ダウンタウンにはスターバックス本店があり、そこでしか買えないグッズがたくさんありました。

4 感想

この研修の説明会ではホームステイの人種によっては、放任主義で、学生との間にトラブルが発生することがよくあるということを説明されましたが、幸い私のホームステイは素晴らしい部屋と食事を提供してくれました。そして決して学校の英語では習えない英会話に触れることができました。

また、バンクーバーの現地学生だけでなく、日本全国の工業高校生とも友達になったことでより良い経験となりました。

バンクーバーを体験して、もう一度バンクーバーに行きたいと思いました。

最高の思い出研修(カナダ・アメリカ)

福岡県立福岡工業高等学校
電子工学科 2 年 生徒

1 ホームステイ&ホストファミリー

最初、僕はアメリカ系のホストファミリーだと思い、とても緊張していました。しかし、ホームステイ先のホストファミリーはコリアンの人でとても優しく、家族にルールはないと言われた時はとても楽しく過ごせると思いました。

英会話の面ではあまり聞き取れませんでしたでしたが、知ってる単語がいくつか出てきたので後は勘を頼りにホストファミリーと話しました。日が経つにつれて聞き取りやすくなり、僕も自然と英語を話せるようになっていました。

コストコやトイザらス、教会、祖母の家に連れて行ってもらいましたが、ビーチに行く予定が疲れで睡魔に襲われて、いけませんでした。しかし、学校でたくさんバスケットをしました。



温かいホストファミリー

2 カナダ、バンクーバーについて

初めに BCIT を見学しました。そこでは航空や飛行機の説明を英語でして頂き、色々ツアーしました。正直何を言っているのかわからず、少ししか理解できませんでした。次に UBC を見学しました。色々散策し



BCIT にて

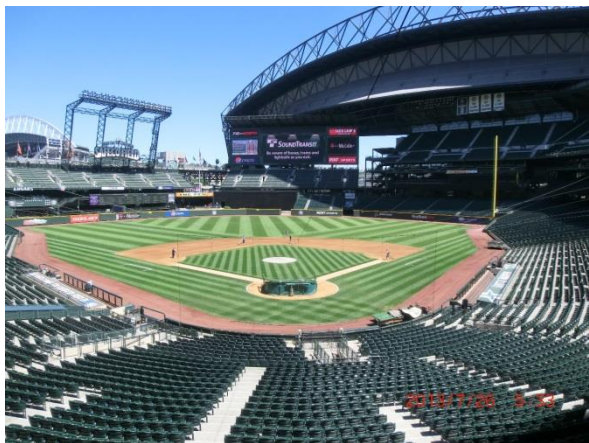
ながら、ショップにいき、そこでしか手に入らないTシャツなどを購入しました。キャピラノ吊橋では、初めに長さ 70 メートルもある吊橋を渡り、そのあとたくさんの吊橋を渡ったので少し酔いかけました。しかし、貴重な体験だったので、とても楽しかったです。お土産屋さんにも行って、合計で 100ドル以上の買い物をしました。

3 アメリカ、シアトルについて

カナダからアメリカに行くときの入国審査ではとても怖いイメージがあったのですが、行ってみると警察の人はみんな優しく、スムーズにできました。昼食場所ではダブルチーズバーガーを食べました。普通サイズなのにとっても大きくて、一個だけでおなか一杯になりました。

そして、バスに乗りセーフコ・フィールドに行きました。ガイドさんはなんと日本人で普通は入れないマリナーズ球場の裏に入り写真もたくさん撮ることができました。ここは本当に貴重でした。次に航空博物館へと移動をし、そこでは英語で詳しく説明をして頂きながらツアーしました。

翌日、シアトルのダウンタウンにいき、そこはスターバックスの発祥地でもあり、そこでしか手に入らないタンブラーや飲み物を購入しました。次にボーイング社に行きました。そこでは、とても速い英語の説明で全くと言っていいほど聞き取れませんでした。しかし、前からボーイングについては調べていたので、とても楽しむことができました。



セーフコ・フィールドにて

4感想

僕はカナダ・アメリカに行くのは生まれて初めてで、最初はとてもとても不安でした。しかし、みんな優しく、とてもフレンドリーで、それによって不安は一気に吹き飛びました。たくさんホストファミリーには迷惑をかけてしまったけど、人生で最高の思い出になりました。将来の夢はアメリカで活躍することなので、この研修のおかげで夢への第一歩を踏み出すことができました。本当にありがとうございました。とてもとても感謝しています。またカナダ・アメリカに行きたいです。

海外研修に参加して

福岡県立小倉工業高等学校

電子機械科 2 年 生徒

1 ホームステイについて

ホームステイでは、当初の予定していたホストファミリーが急遽変わり少し不安でしたが、実際に会い、お世話になると、面白く暖かい家庭で安心しました。

家族は4人で17歳の兄と15歳の妹がいました。一緒にお世話になったH君(茨城県立総和工業高等学校)と私は、家族と一緒にバスケットやフリスビーをしたり、映画鑑賞をしたりと楽しい時間を過ごしました。週末は、地域の団体とスポーツフェスティバルを行ったり、教会の代わりに映画館を借りて行われた礼拝に参加し、日本とは違う文化を味わいました。



ホストファミリー宅にて

家族との会話が増える中で、冗談も交えながら質問をしたりして、笑いが絶えませんでした。その半面、もっと話したい、もっと分かりあいたいという気持ちから、英会話能力が必要だと思いました。これから、授業などを通してさらに英語が話せるように力をつけたいです。

2 バンクーバー散策にて

バンクーバー散策では、現地の学生と一緒に行動し、会話やカナダの観光を楽しみました。

キャピラノ吊り橋やスタンレーパークを観光しましたが、とても広大な敷地に感動しました。自然豊かなところで野生のアライグマも見ることができました。また、ダウンタウンでのおしゃれな街並みで、買い物をすることもできました。

観光地だけでなく、ブリティッシュコロンビア州の公立大学 British Columbia Institute of Technology リッチモンド校の見学もありました。キャンパス内は、



BCITキャンパス内

飛行機のエンジンや部品、そして本物の飛行機がたくさんあり、充実した設備に驚きました。説明の際に出てきた「hands of learning」という言葉が印象的で、私たち工業生と同じで、書いたり聞いたりするだけでなく、実際に手で触って学ぶことの重要性を再認識しました。

3 シアトルにて

シアトルの滞在では、ボーイング社工場見学と航空博物館が印象的でした。ボーイング社では、カメラ撮影ができなかったのが残念でしたが、工場の大きさに圧倒されました。見学中の説明は少ししか理解で

きませんでしたが、良い経験になりました。

ほかにも、マリナーズの本拠地、セーフコ・フィールドに行きました。イチロー選手が座っていたベンチにも座ることができました。また、VIPルームにも入ることができ、貴重な体験となりました。

スターバックスの第1号店にも行き、忘れられない一日となりました。



セーフコ・フィールドにて

4 感想

カナダに着いた時、日本のような湿気がなく、その代わり日ざしが強かったです。それでも、日陰にいるとかなり涼しく、自然豊かな場所であるカナダはとても過ごしやすかったです。

カナダには、多くの人種の人がいて、どの人も親切で、フレンドリーでした。少しすると、英語の聞き取りも慣れ、話す時も、単語で十分会話でき、会話をするのがとても楽しかったです。

この海外研修に参加することで、将来の視野が広がり、海外に対する興味も増えました。ぜひ、他の人にも経験してもらいたいと思うのと同時に世界にもっと視野を広げるべきだと感じました。今後もこの研修で学んだことを生かしていきたいです。

もう一度カナダに行きたいと思うほど、良い経験ができました。このような機会を作ってくださった方々に感謝致します。ありがとうございました。

海外研修に参加して

熊本県立鹿本商工高等学校

電子機械科2年 生徒

1 ホームステイ

私を受け入れてくれた家族は、みんな優しい方達でした。家は綺麗で、とても過ごしやすい環境を提供してくださいました。

ホストマザーの作る料理は、栄養バランスを考えて下さり、美味しい料理でした。ホストファミリーは、気さくな方達で、心落ち着ける空間をつくって下さいました。また、家族でBBQをしたときは、日本とは違い、肉の大きさに驚きました。



ホストマザーの息子と

2 バンクーバー

バンクーバー散策では、有名な観光地へ行く事ができて、とても貴重な体験が出来ました。カナダの街の様子や、広大で豊かな自然を目の当たりにして、スケールの違いに感動しました。また、キャピラノ吊橋は、今まで体験した事のないくらいの長さで、とても高く足のすくむ程のものでした。

3 会社見学(ボーイング社)

ボーイング社を訪問し、まず会社の規模に驚かされました。とても大きな工場の中で、なじみの深い様々な機体が製造されている工程を見学できました。会社の周りにはたくさんの機体が展示しており、コンコルド等の普段見ることのできない飛行機を見ることができました。



超音速旅客機コンコルド

4 市内観光

市内観光では、スタバ1号店やセーフコフィールド(マリナーズの本拠地)に行き、充実した時間を過ごすことができました。

特に、スターバックスコーヒー1号店では日本とはロゴが違うことなどの発見をすることができました。



スタバ 1号店にて

5 感想

私はこの研修で様々な人たちと出会い、色々な場所に行き、文化の違いや人の温かさを感じることができました。また、ホストファミリーや研修を通じて知り合えた友達との思い出はかけがえのない貴重なものになりました。この経験を今後の進路選択や学校生活に活かしていきたいと思います。

10. 結びに

第13回研修は募集人員を超える30名の応募があり、選考で人員を絞らざるを得なかった。そのため、今年度から定員に余裕がある場合には先生方にも参加して頂く事も企画しましたが、実現できませんでした。せっかく応募して頂きながら参加できなかった生徒、先生には残念なことになってしまいました。

実施した結果については、基本的には昨年度と大きく内容は変わっていませんが、大変好評であり満足のものであったと考えています。

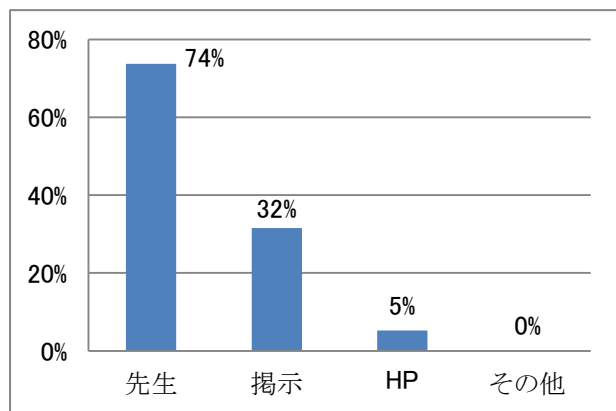
参加者は、研修内容もさることながら、全国の工業高校生が集まって交流ができた事もよかったと言っています。本事業はこの面からも有意義と考えています。

今回の研修報告書は、本協会のHPに掲載する予定です。

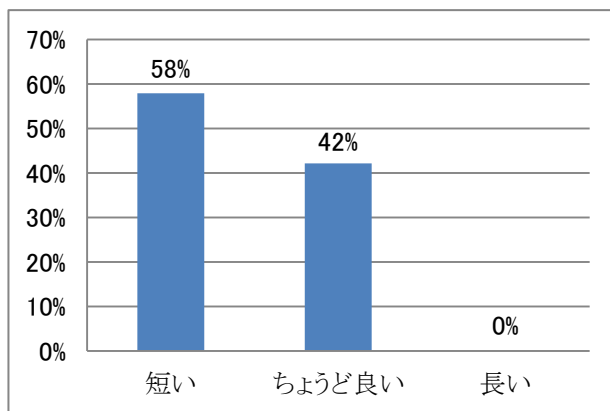
第14回海外研修に向けては、参加者のアンケートや感想をもとに、国際化推進委員会の先生方を中心に企画することになります。今後の国際化推進事業の充実のため、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

11 アンケート結果

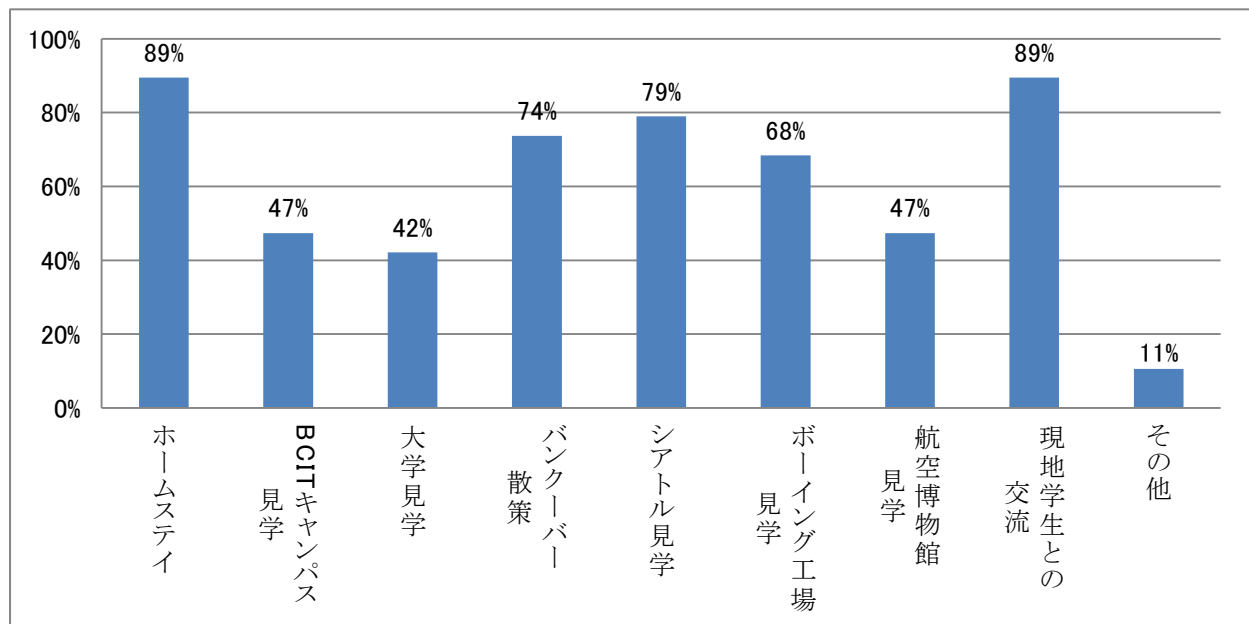
1 どうして知りましたか



2 期間はどうか



3 研修の内容で良かったものは何ですか



国際化事業推進委員会委員

委員長	渡邊裕治（千葉県立京葉工業高等学校長）
委員	加藤秀次（東京都立墨田工業高等学校長）
	木南郁男（神奈川県立藤沢工科高等学校長）
	市川 孝（埼玉県立狭山工業高等学校長）
事務局	木暮守雄（全国工業高等学校長会事務局長）
	瀧上文雄（全国工業高等学校長会事務局次長）
引 率	加藤秀次（東京都立墨田工業高等学校長）
	木南郁男（神奈川県立藤沢工科高等学校長）